

**福島市市民会館・敬老センター・中央学習センターの  
再編整備に関する市民アンケート調査**

**結果報告書**

**令和元年 6月**

**福島市**

## <目 次>

1. 調査概要	-----	1
2. 調査結果	-----	2
2. 1 回答者の属性	-----	2
2. 2 3施設の『利用状況』について	-----	7
2. 3 3施設の『満足度』について	-----	13
2. 4 3施設の『施設機能・サービス』について	-----	17
2. 5 3施設の『複合化のあり方』について	-----	18
2. 6 3施設の『使用料のあり方』について	-----	22
2. 7 3施設の複合化整備への提案等	-----	26
3. 資料「アンケート調査のお願い（調査依頼書）」	-----	27
4. 資料「アンケート調査書（回答書）」	-----	31

## 1. 調査概要

---

### (1) 調査目的

福島市では、昨年 12 月に『風格ある県都を目指すまちづくり構想』を発表し、老朽化が著しい「市民会館」「敬老センター」「中央学習センター」の 3 施設について、建設延期中の「市役所本庁舎西棟へ複合化を検討する」との再編整備の方向性をまとめました。

本調査は、今後進行する公共施設の老朽化の課題への対応や、厳しい財政状況、人口減少傾向なども見据えながら、これら 3 施設の再編整備の方向性検討の参考とするため、複合化や再編整備などに関する市民意見を把握することを目的に実施したものです。

### (2) 調査の実施概要

対象者数	1,500 人
抽出方法	住民基本台帳より 18 歳以上の市民を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 31 年 2 月 22 日～平成 31 年 3 月 18 日

### (3) 回収状況

有効回収数            513 件（回収率：34.2%）

### (4) 報告書中の表記

- ・本報告書では、構成比の数値を小数点以下第 2 位で四捨五入しています。そのため、各回答の構成比の合計が 100.0%に一致しないことがあります。
- ・複数回答の設問については、回答者数を母数として回答比率を算出しています。そのため、回答比率の合計は 100.0%を超えることがあります。

## 2. 調査結果

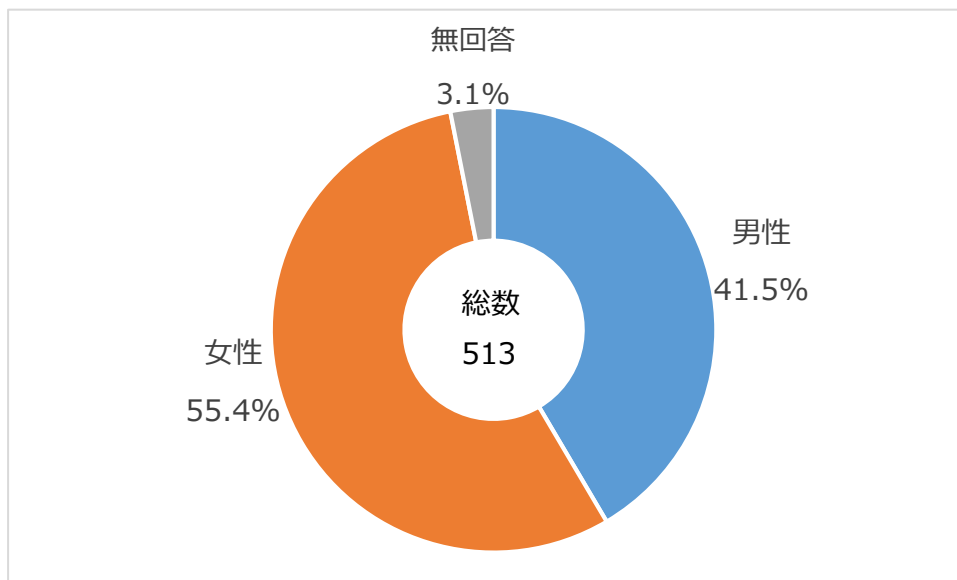
---

### 2.1 回答者の属性

① あなたの性別をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

- |      |
|------|
| 1 男性 |
| 2 女性 |

● 回答者の性別は、「女性」が 55.4%、「男性」が 41.5%となっています。



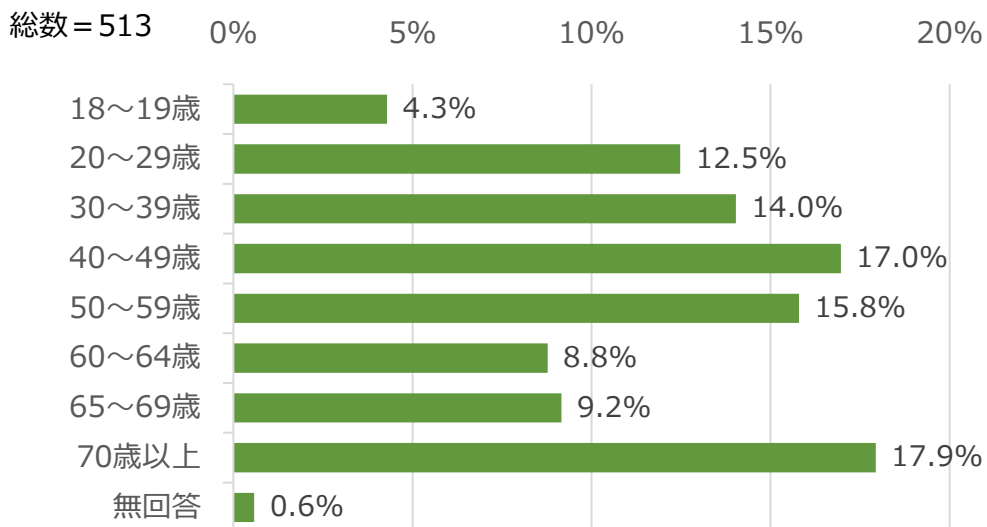
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	513	100.0
男性	213	41.5
女性	284	55.4
無回答	16	3.1

図表 2.1.1 回答者の属性

② あなたの**年齢**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

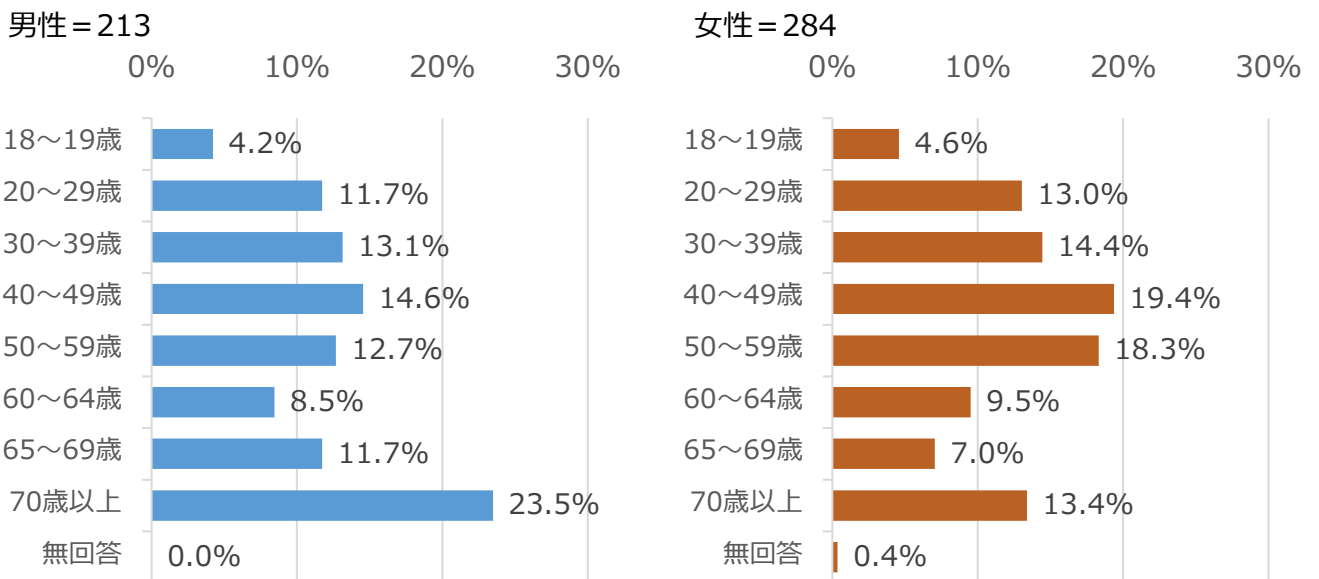
1 18～19歳	5 50～59歳
2 20～29歳	6 60～64歳
3 30～39歳	7 65～69歳
4 40～49歳	8 70歳以上

● 回答者の年齢は、『70歳以上』が17.9%で最も多く、次いで『40～49歳』が17.0%、『50～59歳』が15.8%、『30～39歳』が14.0%の順となっています。



図表 2.1.2 回答者の年齢構成

● 性別の年齢構成比をみると、男性は『70歳以上』が23.5%と最も高く、女性は『40～49歳』が19.4%と最も高くなっています。

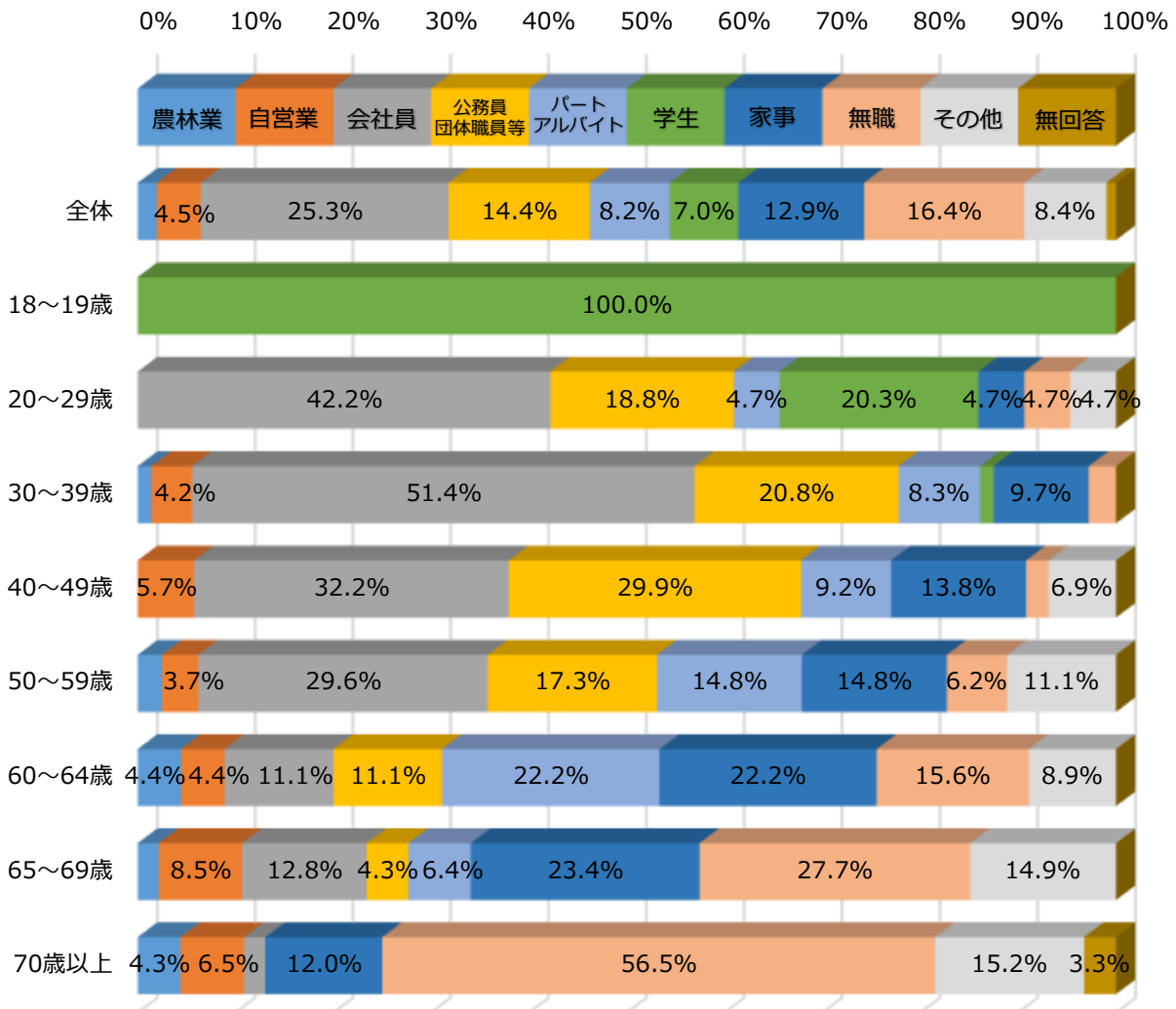


図表 2.1.3 性別の年齢構成

③ あなたのご職業をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1 農林水産業	6 学生
2 自営業	7 家事(家事・育児・介護などだけに従事)
3 会社員	8 無職(学生・家事を除く)
4 公務員、団体職員等	9 その他
5 パート、アルバイト	

- 回答者の職業は、『会社員』が25.3%と最も多く、次に『無職』(16.4%)、『公務員・団体職員等』(14.4%)、『家事』(12.9%)の順となっています。
- 年代別にみると、20～59歳までの年齢層は『会社員』が最も多く、60～64歳は『パート・アルバイト』及び『家事』が最も多くなっています。



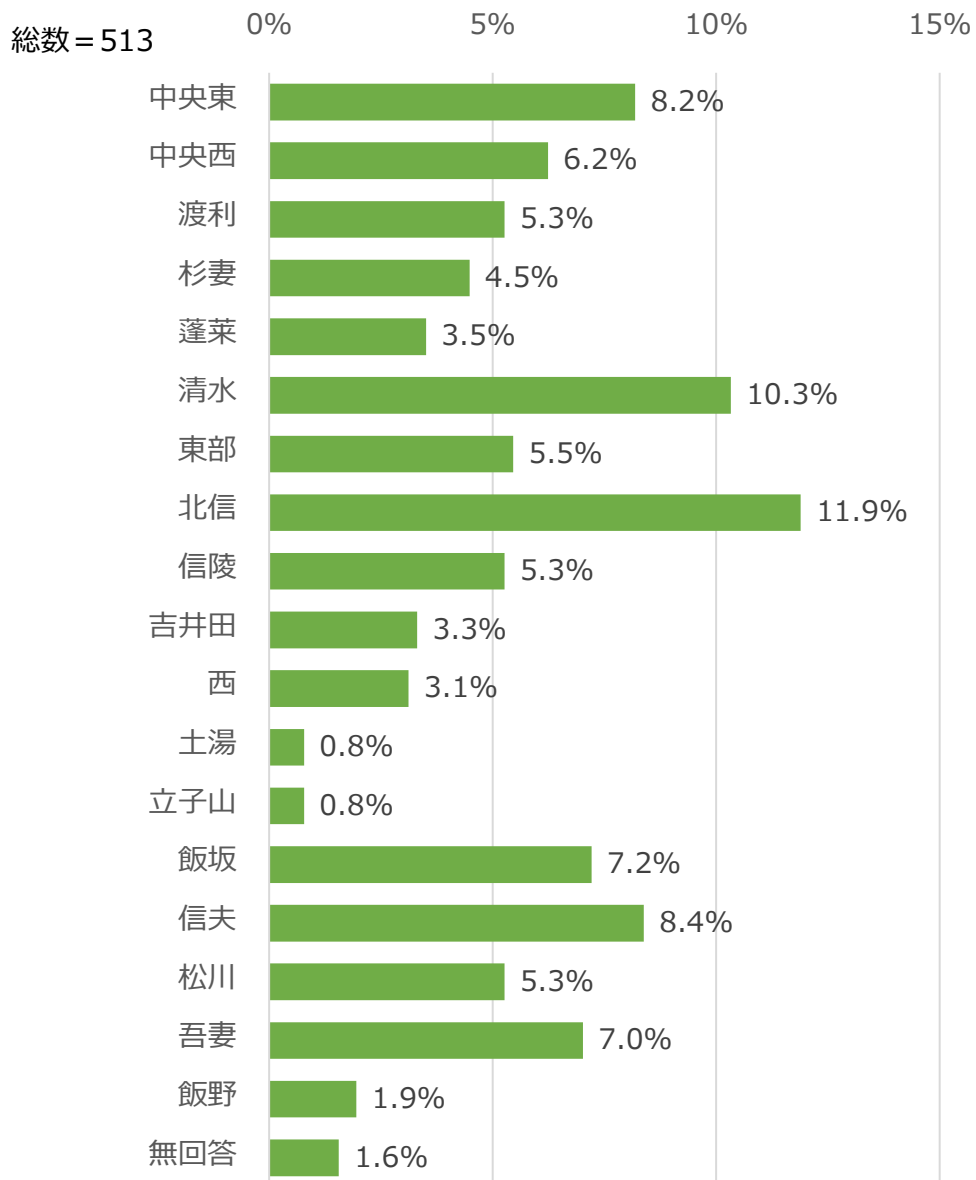
(注) 3%未満数値：全体 (1.9% 1.0%)、30～39歳 (1.4% 1.4%)、40～49歳 (2.3%)、50～59歳 (2.5%)、65～69歳 (2.1%)、70歳以上 (2.2%)

図表 2.1.4 回答者の年齢別職業構成比

④ あなたの**お住まいの地区**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1 中央東 <small>(福島駅東側)</small>	6 清水	11 西	16 松川
2 中央西 <small>(福島駅西側)</small>	7 東部 <small>(大波地区を含む)</small>	12 土湯温泉町	17 吾妻
3 渡利	8 北信	13 立子山	18 飯野
4 杉妻	9 信陵	14 飯坂 <small>(茂庭地区を含む)</small>	
5 蓬菜	10 吉井田	15 信夫	

● 回答者の居住地区は、『北信』が11.9%で最も多く、『清水』が10.3%、『信夫』が8.4%、『中央東』が8.2%で続きます。

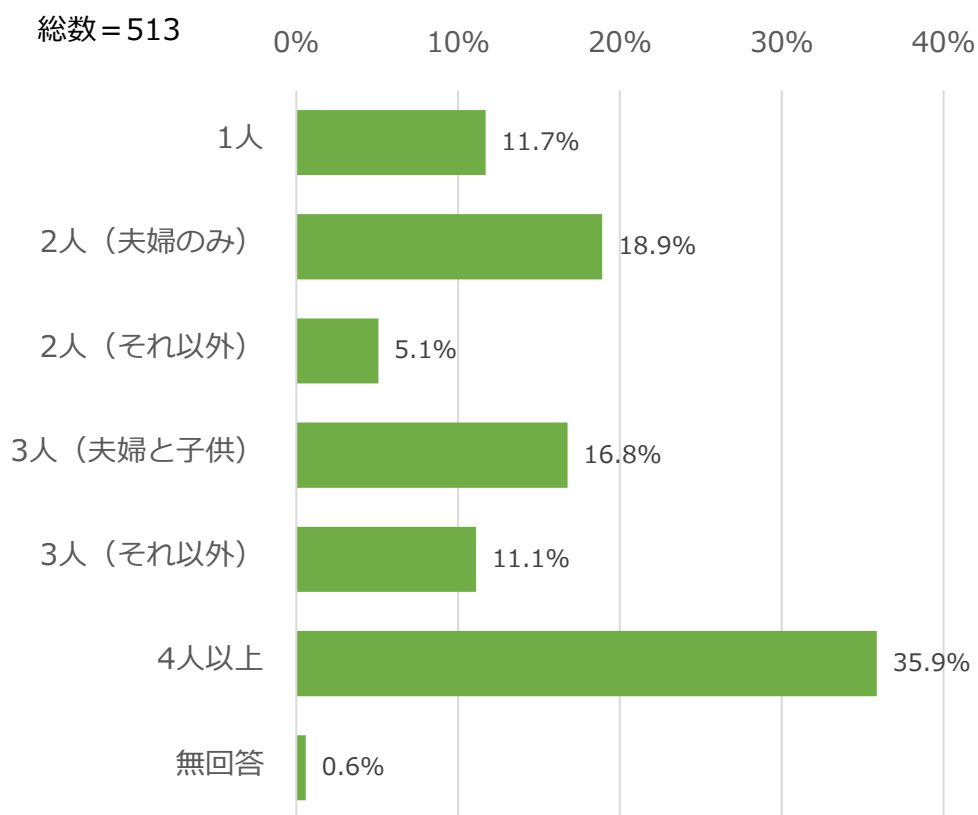


図表 2.1.5 回答者の居住地区

⑤ あなたの**世帯構成**についてお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1	1人（本人のみの世帯）	4	3人（夫婦と子どもから成る世帯）
2	2人（夫婦のみの世帯）	5	3人（上記以外の世帯）
3	2人（上記以外の世帯）	6	4人以上

● 回答者の世帯構成は、『4人以上』が最も多く 35.9%、次に『2人（夫婦のみ）』が 18.9%、『3人（夫婦と子ども）』が 16.8%、『1人』が 11.7%と続きます。



図表 2.1.6 回答者の世帯構成



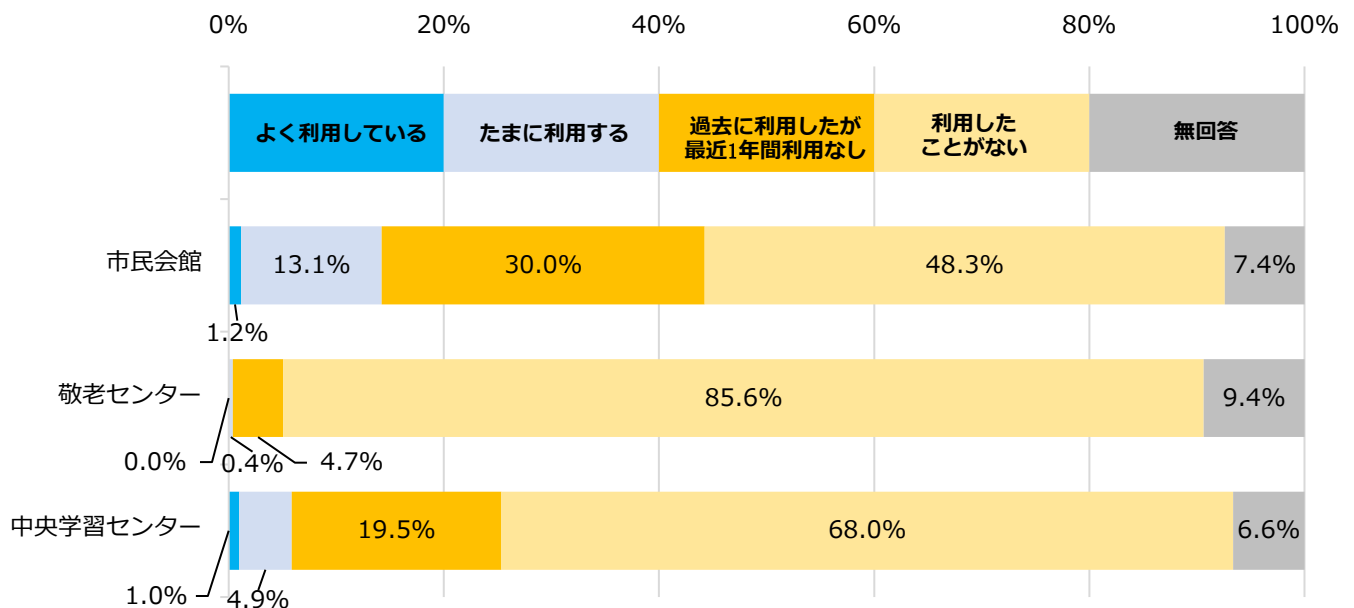
## 2.2 3施設の『利用状況』について

【問1】 あなたは、過去1年間に、次の施設をどのくらい利用していますか。それぞれ施設ごとに「1-1 利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。

また、「1-1 利用頻度」で「利用している（選択1・2）」を選択した方は、それぞれ施設ごとに右欄の「1-2 利用目的」から選んで、番号に○をつけてください。

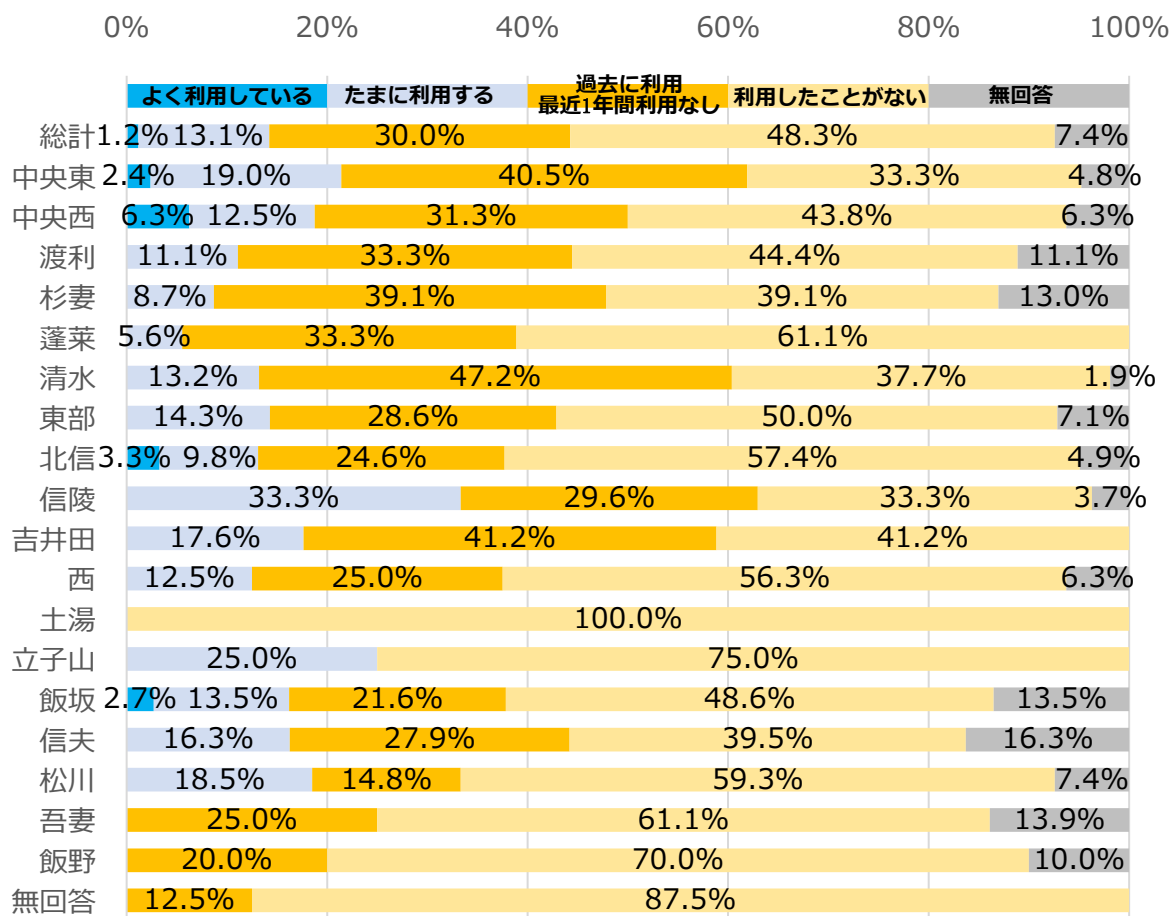
施設名称	1-1 利用頻度（※○は1つ）				1-2 利用目的（※複数選択可）					
	利用している		利用していない		会議や研修の場	サークルやボランティア等のグループの活動・交流の場	趣味や娯楽、談話の場	習い事や学習（その成果の発表を含む。）の場	軽運動や健康づくりの場	その他
	よく利用している（月1回以上）	たまに利用する（年数回程度）	過去に利用したが、最近1年間では利用がない	これまで一度も利用したことがない						
（記入例）	1	②	3	4	①	②	3	④	5	6
①市民会館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
②敬老センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
③中央学習センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6

- 各施設の利用状況を見ると、「よく利用している」「たまに利用する」「過去に利用したが最近1年間利用がない」といった施設の利用経験のある方は、市民会館で44.3%、敬老センターで5.1%、中央学習センターで25.4%となっています。

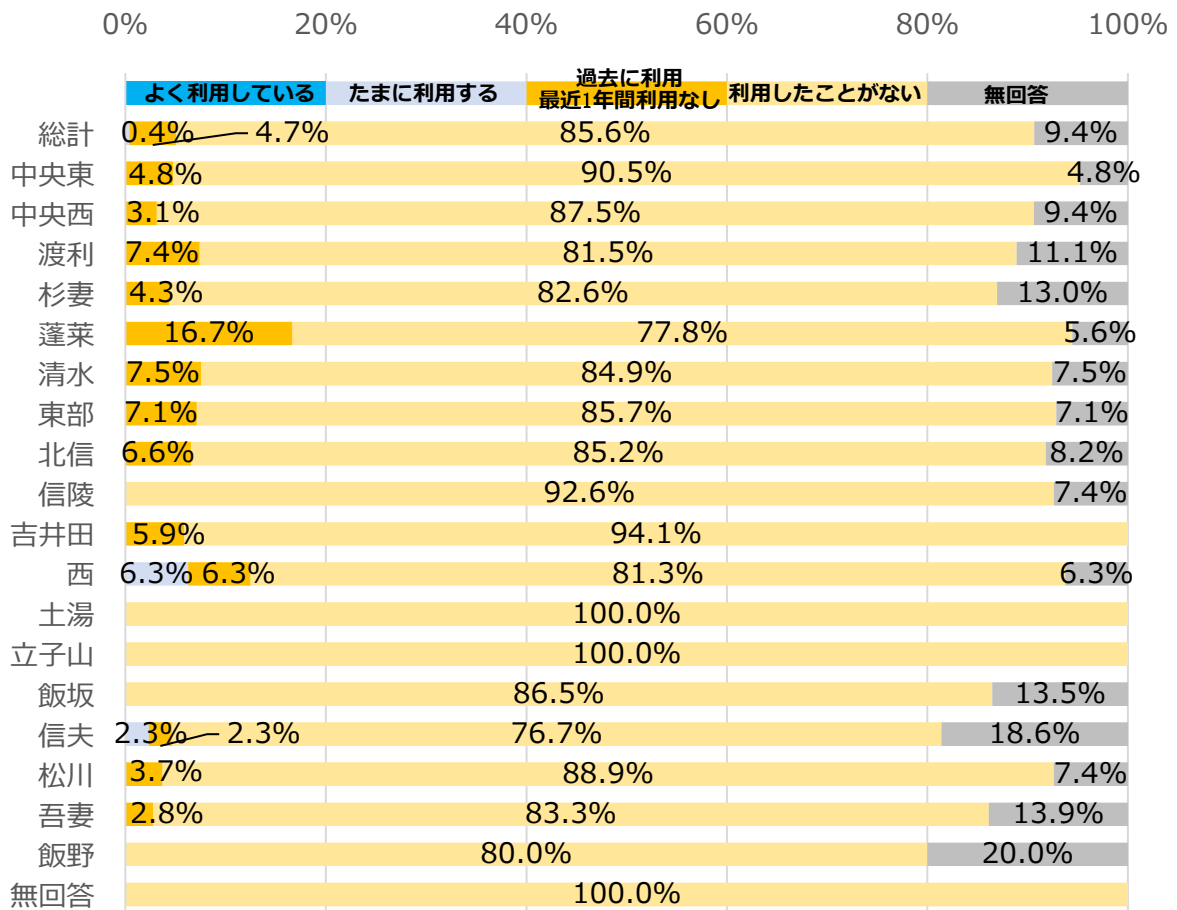


図表 2.2.1 3施設の利用頻度

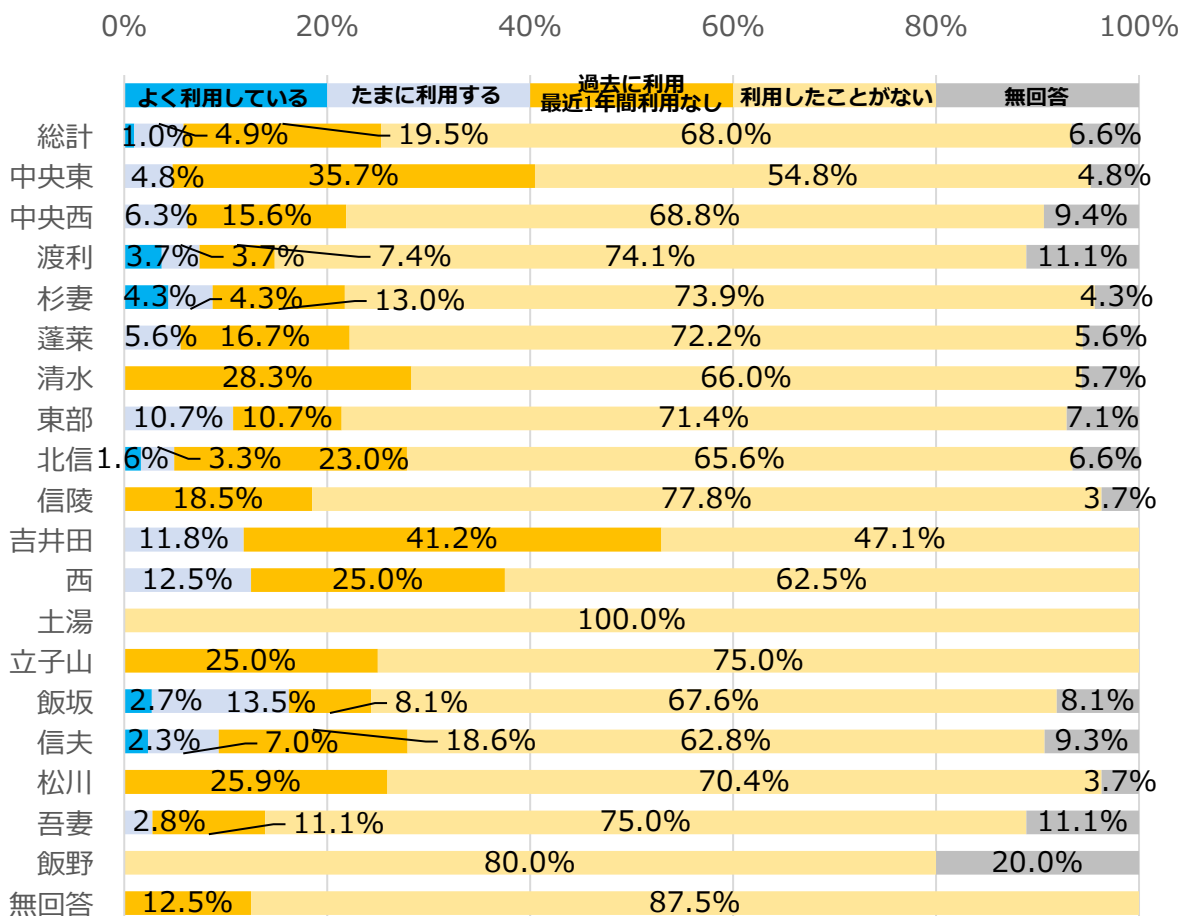
- 地区別の利用状況を見ると、3施設ともに、他地区と比較し施設が所在する中央東地区において利用経験者が多少多いものの、『よく利用している』『たまに利用する』といった定例的に利用している方の割合は、他地区とほとんど差がありませんでした。
- 市民会館・中央学習センターを定例的に利用している方の割合は地区によってある程度の偏りがみられ、土湯・吾妻・飯野などの方の利用率は低い傾向となりました。



図表 2.2.2 市民会館の利用頻度（居住地区別）

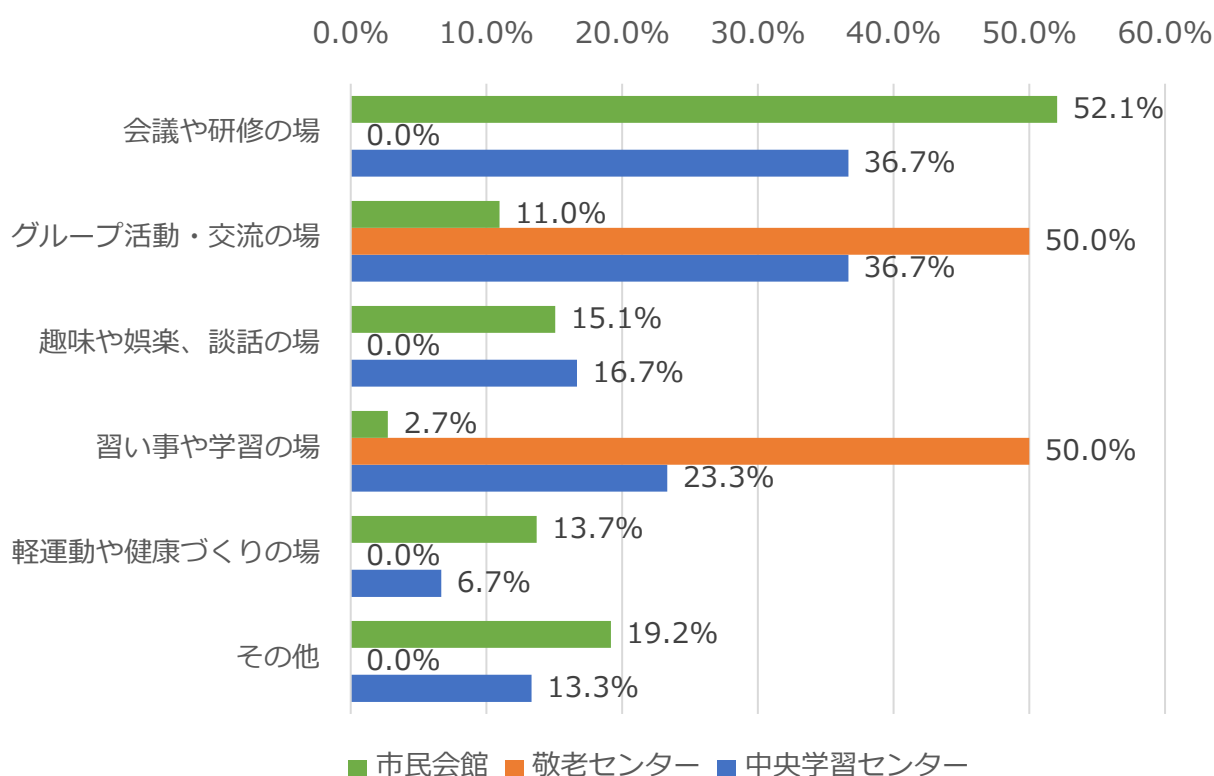


図表 2.2.3 敬老センターの利用頻度（居住地区別）



図表 2.2.4 中央学習センターの利用頻度（居住地区別）

- 施設を利用する目的については、市民会館では『会議や研修の場』との回答が52.1%、『その他』が19.2%、『趣味や娯楽、談話の場』が15.1%となっており、会議や研修の会場としての需要が極端に高くなっています。
- 敬老センターについては、『グループ活動・交流の場』、『習い事や学習の場』がそれぞれ50%となっていますが、母数（施設を利用している方）が少ないため、偏った結果となっています。
- 中央学習センターについては『会議や研修の場』『グループ活動・交流の場』が36.7%、『習い事や学習の場』が23.3%、『趣味や娯楽、談話の場』が16.7%との回答となっており、様々な目的で利用されていることがわかります。
- 3施設ともに『軽運動や健康づくりの場』との回答が少なく、現状ではこうした利用が少ない結果となっています。

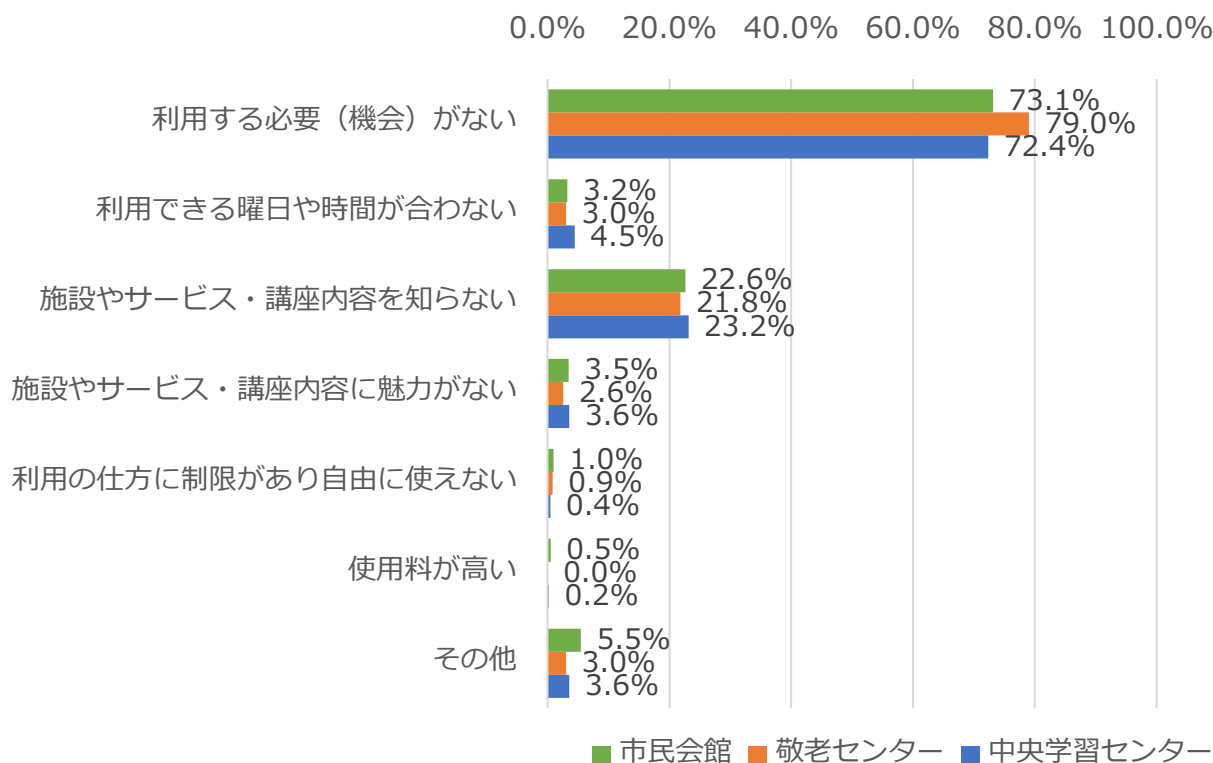


図表 2.2.5 3施設の利用目的

【問2】 前問の「1-1 利用頻度」で「利用していない（選択3・4）」を選択した方のみお答えください。それぞれ施設ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

施設名称	2 利用していない理由 (※複数選択可)						
	利用する必要がない (または機会がない)	利用できる曜日や時間が活動と合わない	知らない	施設又は利用できるサービス・講座の内容を知らない	利用できない施設やサービス・講座内容に魅力がない	利用の仕方に制限があり、自由に施設を使えない	使用料が高い
(記入例)	1	②	3	④	5	6	7
①市民会館	1	2	3	4	5	6	7
②敬老センター	1	2	3	4	5	6	7
③中央学習センター	1	2	3	4	5	6	7

- 施設分類別に利用していない理由をみると、すべての施設分類で『利用する機会がない』が70%台となっており、続いて『施設又は利用できるサービス・講座の内容を知らない』が20%台となっています。



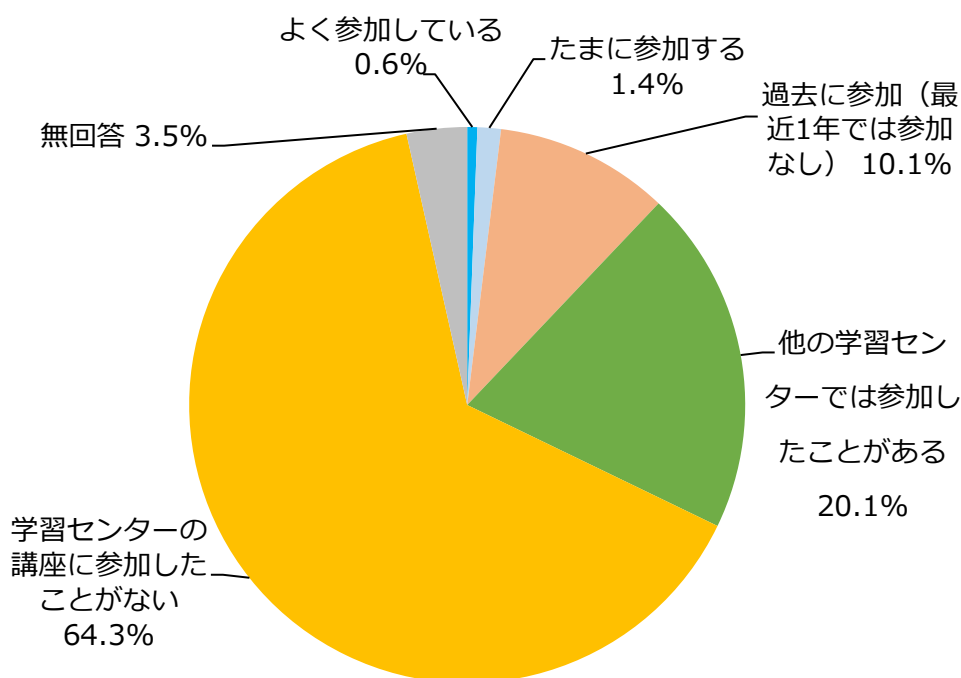
図表 2.2.6 公共施設別利用していない理由

【問3】「中央学習センター」の講座参加状況についてお聞きします。

「中央学習センター」は、施設の貸出だけでなく、社会教育施設として青少年や女性、高齢者などのために様々な講座やセミナー、イベント等を開催しています。あなたは、「中央学習センター」が主催する講座やセミナー、イベント等に参加したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	3 中央学習センター講座等への参加の有無（※○は1つ）				
	参加している		参加していない		
	よく参加している (月1回以上)	たまに参加する (年数回程度)	過去に参加したが、 最近1年間では参加 がない	他の学習センターで は参加したことがあ る	これまで一度も参加 したことがないが、 他の学習センターも 含め、一度も参加し たことがない
(記入例)	①	2	3	4	5
③中央学習センター	1	2	3	4	5

- 中央学習センターの講座に、これまで一度でも参加したことのある方の割合は12.1%で、うち「よく参加している」「たまに参加する」といった定期的に参加している方は2.0%でした。一方、中央学習センターの講座に一度も参加したことのない方の割合は、84.4%でした。



図表 2.2.7 中央学習センターの講座参加状況

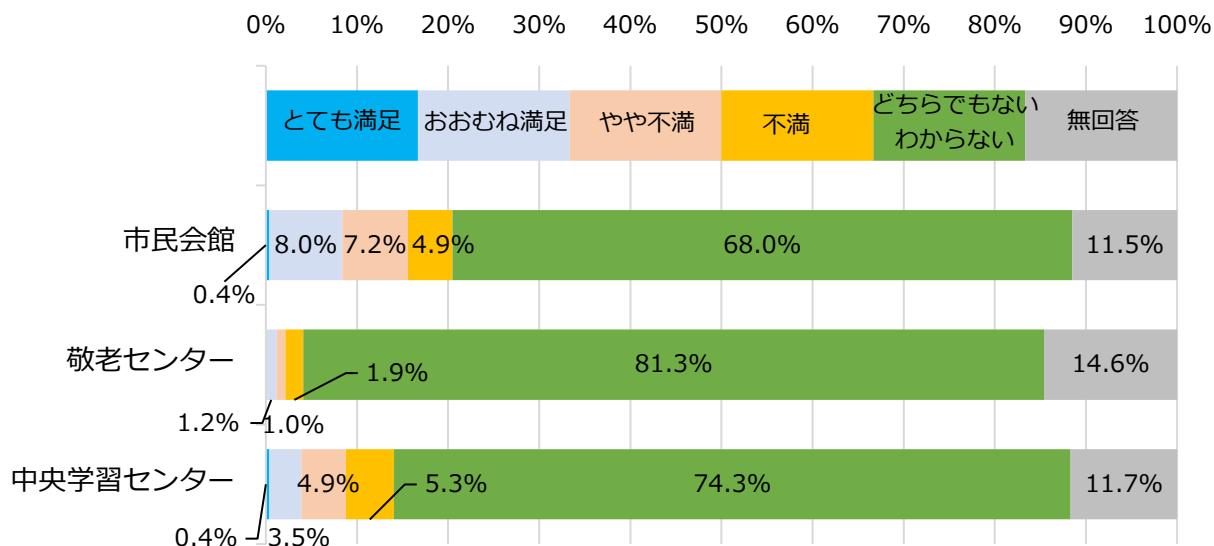
## 2.3 3施設の『満足度』について

【問4】 あなたが次の施設に感じている満足度について、それぞれ施設ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

また、「4-1 満足度」で「満足している（選択1・2）」を選択した方は、それぞれ施設ごとに右欄の「4-2 満足している理由」から選んで、番号に○をつけてください。

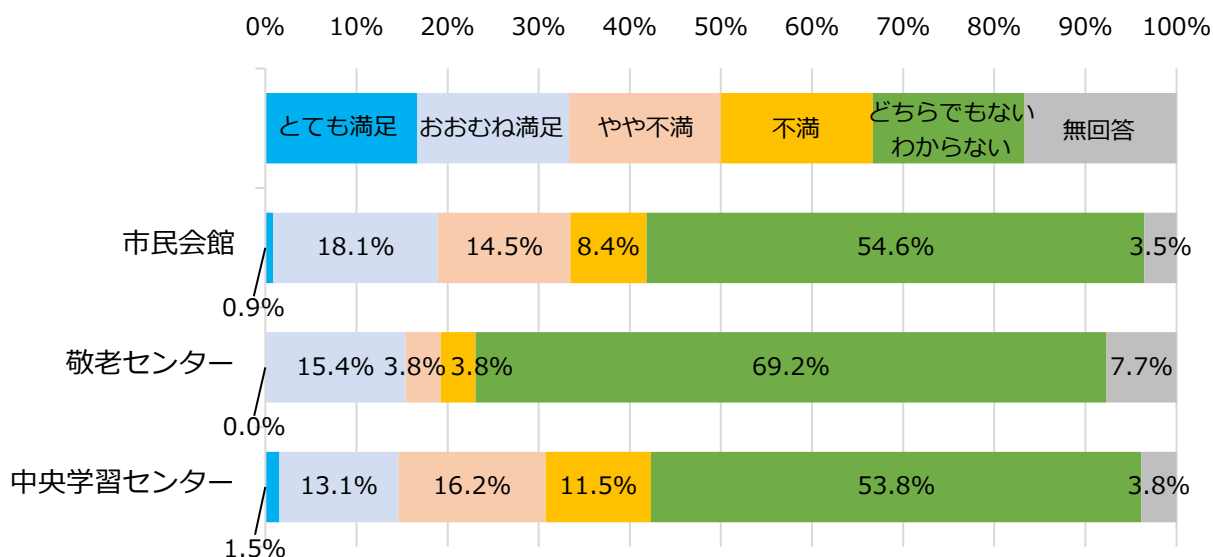
施設名称	4-1 満足度（※○は1つ）					4-2 満足している理由（※複数選択可）							
	満足している		満足していない			ある	建物内のスペースにゆとりがある	設備や備品が充実している	動と合う 利用できる曜日や時間帯が活	ある	利用したい部屋やサービスが	使用料が安い（または無料）	その他
	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	どちらでもない（またはわからない）								
（記入例）	1	②	3	4	5	1	2	③	④	5	6		
①市民会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		
②敬老センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		
③中央学習センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		

- とても満足、おおむね満足との回答は市民会館で8.4%、中央学習センターで3.9%、敬老センターでは1.2%となり、やや不満、不満との回答は市民会館で12.1%、中央学習センターで10.7%、敬老センターでは2.9%となりました。
- 3施設ともに、どちらでもない、わからないとの回答が多く、7~8割を占めています。



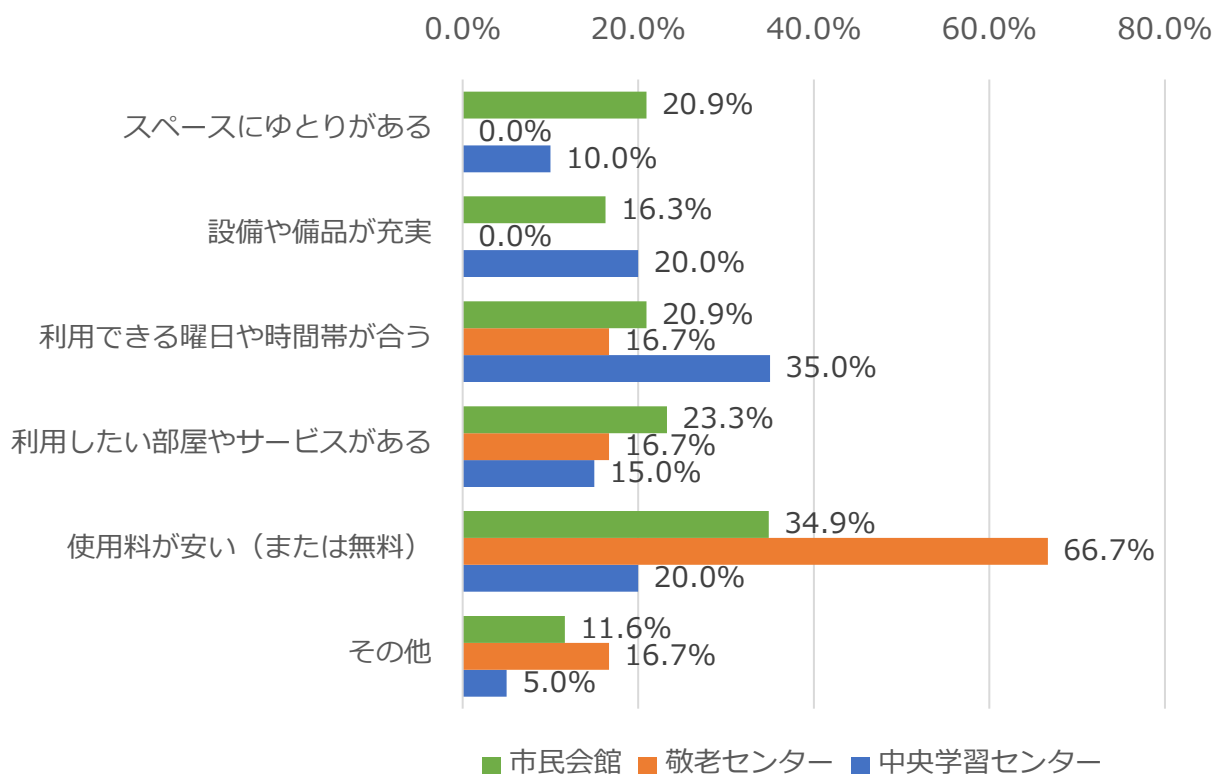
図表 2.3.1 3施設の満足度

- 過去に施設を利用したことがある方のみで集計した満足度については、以下のとおりです。  
『どちらでもない・わからない』『無回答』の回答が減少し、他の回答の割合が増えていますが、傾向は同様です。



図表 2.3.1 3施設の満足度（施設を利用したことがある方のみを集計）

- 施設に満足していると回答した方のうち、その理由について市民会館と敬老センターでは『使用料が安い』、中央学習センターについては『利用できる曜日や時間帯が合う』との回答が最も多い結果となりました。



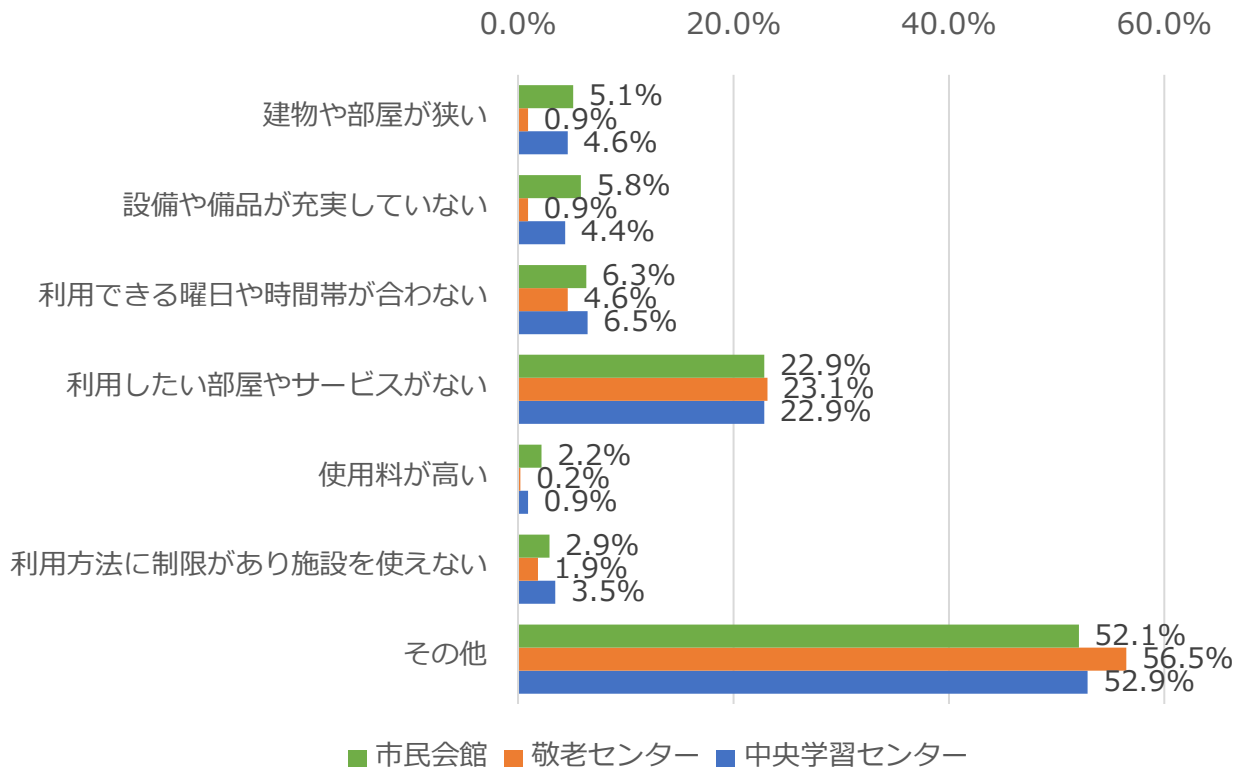
図表 2.3.2 3施設に満足している理由



【問5】 前問で「満足していない（選択3・4・5）」を選択した方にお聞きします。  
 それぞれ施設ごとに、満足していない理由を選んで、番号に○をつけてください。

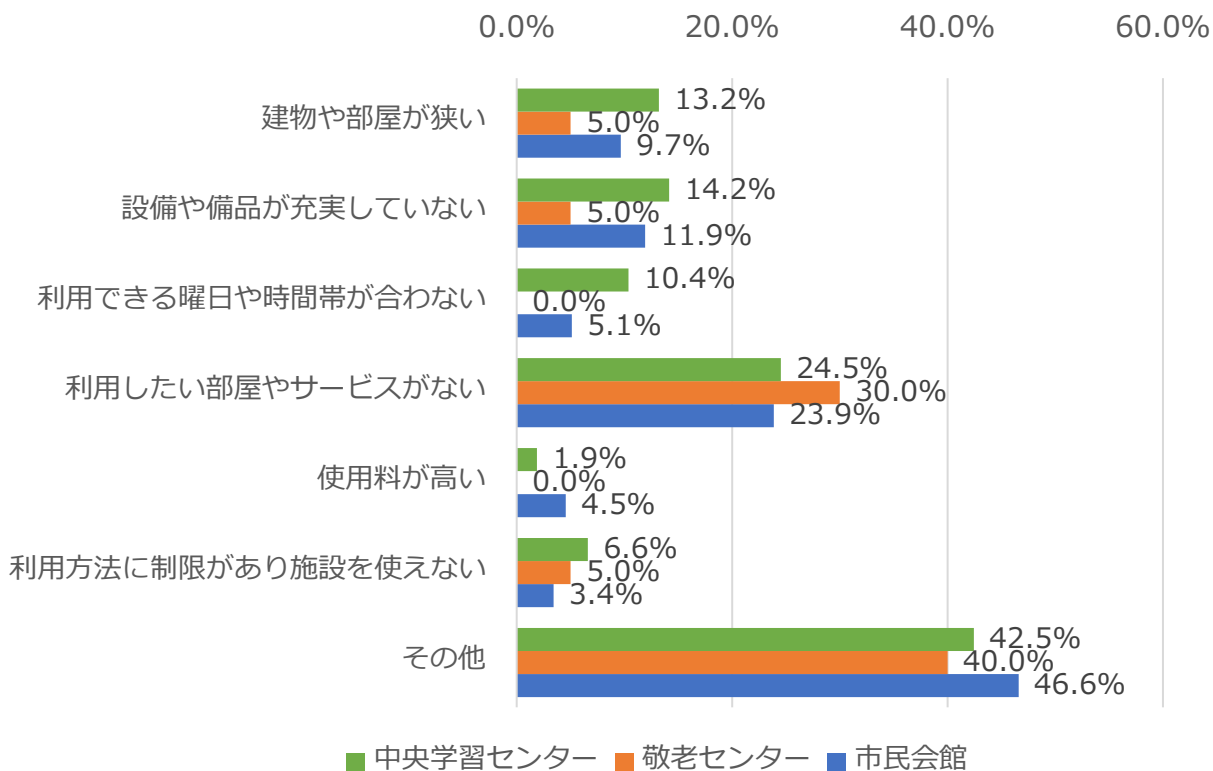
施設名称	5 満足していない理由（※複数選択可）						
	建物や部屋が狭い	設備や備品が充実していない	利用できる曜日や時間帯が合わない	利用したい部屋やサービスがない	使用料が高い（または有料）	利用の仕方に制限があり、自由に施設を使えない	その他
（記入例）	1	2	③	4	5	6	7
①市民会館	1	2	3	4	5	6	7
②敬老センター	1	2	3	4	5	6	7
③中央学習センター	1	2	3	4	5	6	7

- 施設に満足していないと回答した方のうち、その理由について、3施設ともに『その他』が多く（50%強）、次に『利用したい部屋やサービスがない』（20%強）との回答でした。
- 3施設ともに施設の狭さや設備・備品の充実などの、ハード面での理由を挙げた方はそれほど多くありませんでした。（1～5%程度）



図表 2.3.3 3施設に満足していない理由

- 施設を利用したことがある方のみで集計した場合、『その他』と『利用したい部屋やサービスがない』は同様に多かったのですが、市民会館と中央学習センターにおいて、部屋の狭さや設備・備品などのハード面を理由に挙げた方の割合が増加しています。



図表 2.3.4 3施設に満足していない理由（施設を利用したことがある方みの集計）

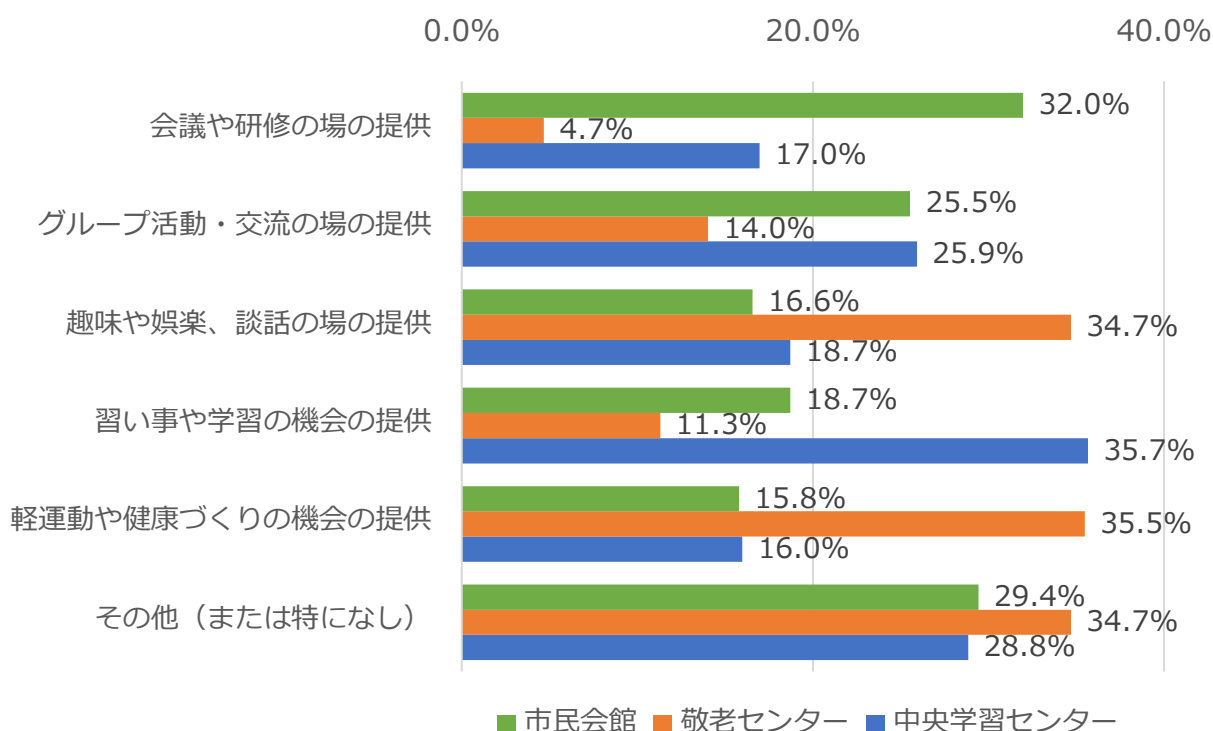
## 2.4 3施設の『施設機能・サービス』について

【問6】 「市民会館」は市民の集会利用のために設置されたものですが、「敬老センター」は老人福祉法により老人福祉の向上のため、「中央学習センター」は生涯にわたる学習活動の推進のためと、それぞれ公共的な目的をもって設置されています。

そこで、あなたが次の施設に求める施設機能・サービスについて、それぞれ施設ごとに2つまで選んで番号に○をつけてください。

施設名称	6 求める施設機能・サービス (※2つまで選択可)						
	会議や研修の場の提供	グループ活動・交流の場の提供	サークルやボランティア等の交流の場の提供	趣味や娯楽、談話の場の提供	習い事や学習の機会(その成果の発表を含む。)の提供	軽運動や健康づくりの機会の提供	その他(または特になし)
(記入例)	①	2		③	4	5	6
①市民会館	1	2		3	4	5	6
②敬老センター	1	2		3	4	5	6
③中央学習センター	1	2		3	4	5	6

- 市民会館では『会議や研修の場』、敬老センターでは『趣味や娯楽、談話の場』と『軽運動や健康づくりの機会』、中央学習センターでは『習い事や学習の機会』を選んだ方がそれぞれ30%を超えており、施設によって求められている機能が異なることがわかります。
- 市民会館、中央学習センターでは、『グループ活動・交流の場』も比較的高くなっています。



図表 2.4.1 3施設に求める施設機能・サービス

## 2. 5 3 施設の『複合化のあり方』について

【問7】 現在、「市民会館（近隣利用者向け会議室等に限る）」「敬老センター」「中央学習センター」について、市役所本庁舎西棟（市民交流施設に限る）への『複合化』を検討しています。

あなたが複合化で最も重視することを、2つまで選んで番号に○をつけてください。

施設名称	7 複合化で最も重視すること（※2つまで選択可）						
	異なる種類の施設を組合せて利用できる（例 貸室と飲食スペース・ギャラリー等）	誰でも自由に使えるフリースペースがある（例 ロビー、サロン、ギャラリー等）	多様な市民交流が可能となる柔軟な施設レイアウト（例 可動間仕切り等による部屋数や面積の調整等）	利用手続きが簡単である（例 一つの窓口で手続きができる等）	誰でも安全・安心に利用でき、防災性やバリアフリーに優れた構造	将来世代に負担を残さないよう建設・維持管理コストを極力抑える	その他（または特になし）
（記入例）	①	2	③	4	5	6	7
新しい市役所本庁舎西棟（市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後）	1	2	3	4	5	6	7

- 複合化で最も重視することとして、『建設・維持管理コストを極力抑える』が 31.4%で最も多く、『自由に使えるフリースペースがある』28.7%、『防災性やバリアフリー』27.7%、『利用手続きが簡単』26.9%と続きますが、それぞれにあまり差がなく、複合化施設に様々なニーズがあることが伺えます。

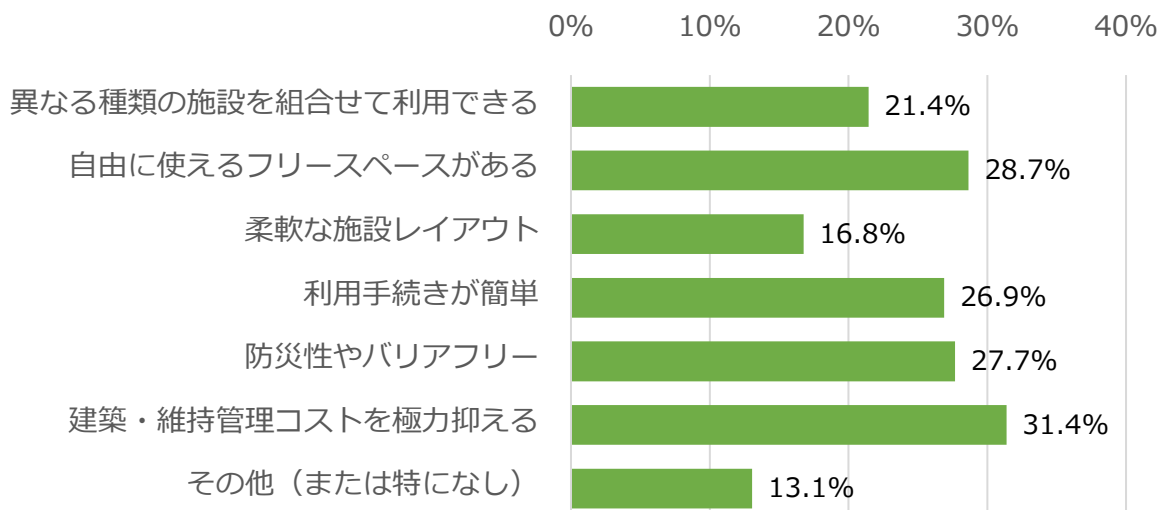
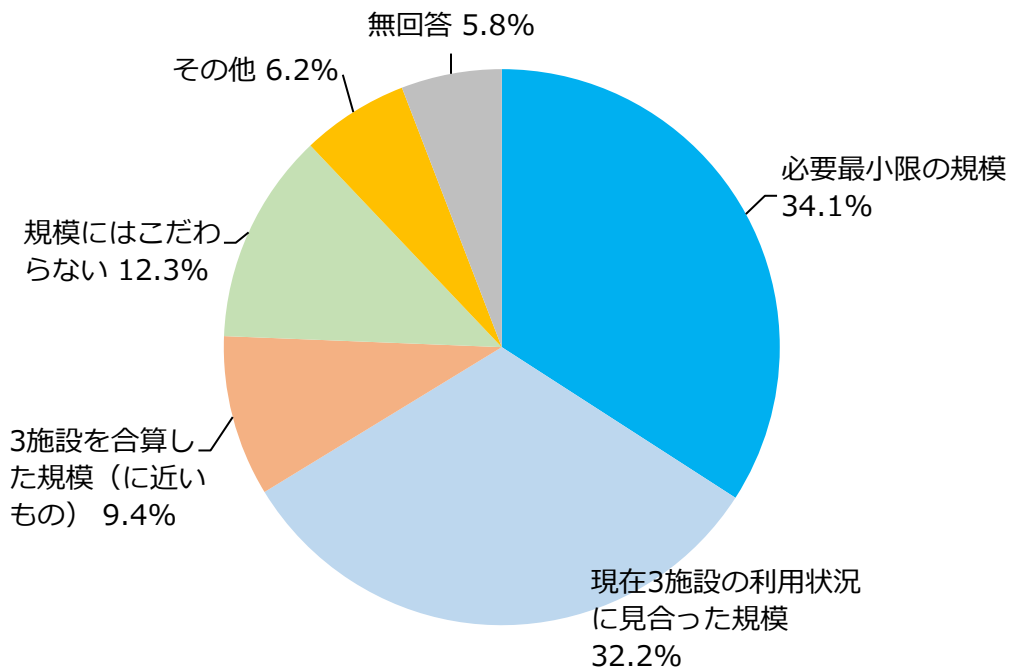


表 2.5.1 複合化で最も重視すること

【問8】 前問における『複合化』の検討にあたり、**複合整備の規模の考え方**として、あなたが最も重視する考え方は何ですか。あてはまるものを**1つ選んで**、番号に○をつけてください。

施設名称	8 複合整備の規模の考え方 (※○は1つ)				
	今後の人口減少や財政的な負担を考慮し、必要な最小限の規模にすべき	現在の3施設の利用状況に見合った規模にすべき	現在の3施設を合算した規模に近いものとするべき	複合整備の規模にはこだわらない	その他
(記入例)	①	2	3	4	5
新しい市役所本庁舎西棟 (市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後)	1	2	3	4	5

- 複合整備の規模の考え方について、『必要最小限の規模』と答えた方が 34.1%で最も多く、次に『現在の3施設の利用状況に見合った規模』が 32.2%となっており、過剰な施設を望まない回答が7割弱となっています。

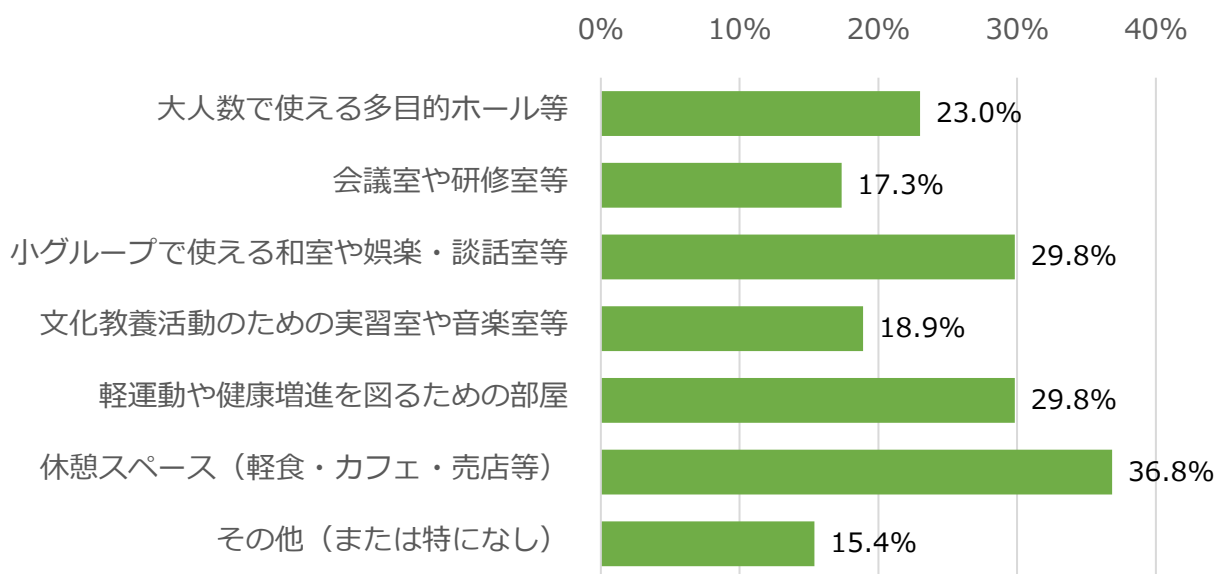


図表 2.5.2 複合整備の規模の考え方

【問9】 【問7】における『複合化』の検討にあたり、魅力ある複合整備とするために、**あなたが必要と考える施設機能（部屋）**は何ですか。あてはまるものを**2つまで選んで**、番号に○をつけてください。

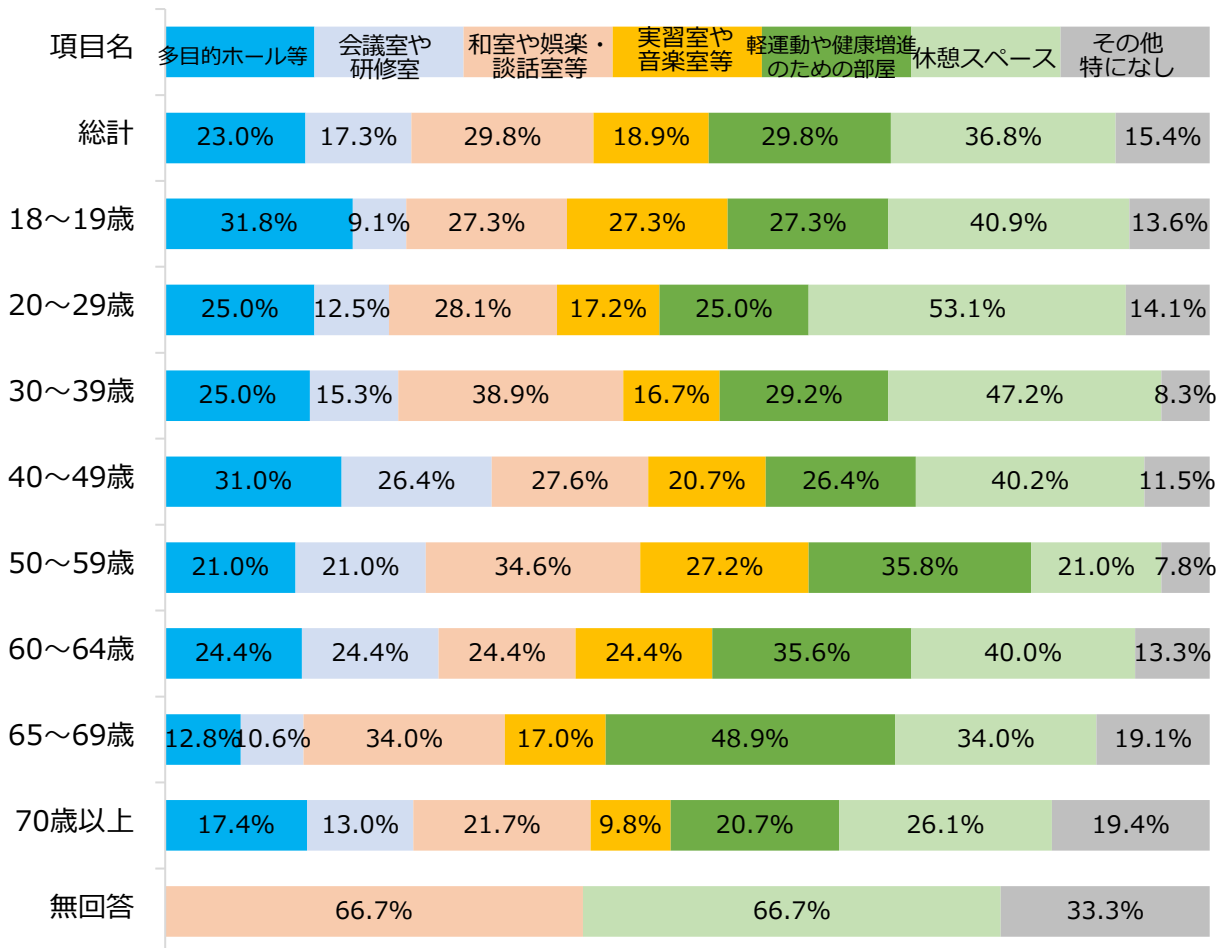
施設名称	9 複合整備に必要な施設機能（部屋）（※2つまで選択可）						
	大人数で利用できる多目的ホール等	会議や研修に利用できる会議室や研修室等	小グループで活動・交流できる和室や娯楽・談話室等	文化教養活動のための実習室や音楽室等	軽運動や健康増進を図るための部屋	休憩スペース（軽食・カフェ・売店など）	その他（または特になし）
（記入例）	①	2	3	4	5	6	7
新しい市役所本庁舎西棟 （市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後）	1	2	3	4	5	6	7

- 複合化で必要と考える施設機能について、『休憩スペース（軽食・カフェ・売店等）』と答えた方が36.8%で最も多く、快適に時間を過ごせる環境整備を求める方が多いことがわかります。
- 次に『小グループで活動・交流できる和室や娯楽・談話室等』『軽運動や健康増進を図るための部屋』が29.8%、『大人数で利用できる多目的ホール等』が23.0%となっています。



図表 2.5.3 複合化に必要な施設機能（部屋）

- 年代別で見ると、18歳～40歳代及び60～64歳で『休憩スペース(軽食・カフェ・売店等)』を求める割合が40%を超えており、年代別では最も高くなっています。また、50～60歳台では『軽運動や健康増進を図るための部屋』の割合が、35%～48%と高くなっています



図表 2.5.4 複合化で必要な施設機能（年代別）

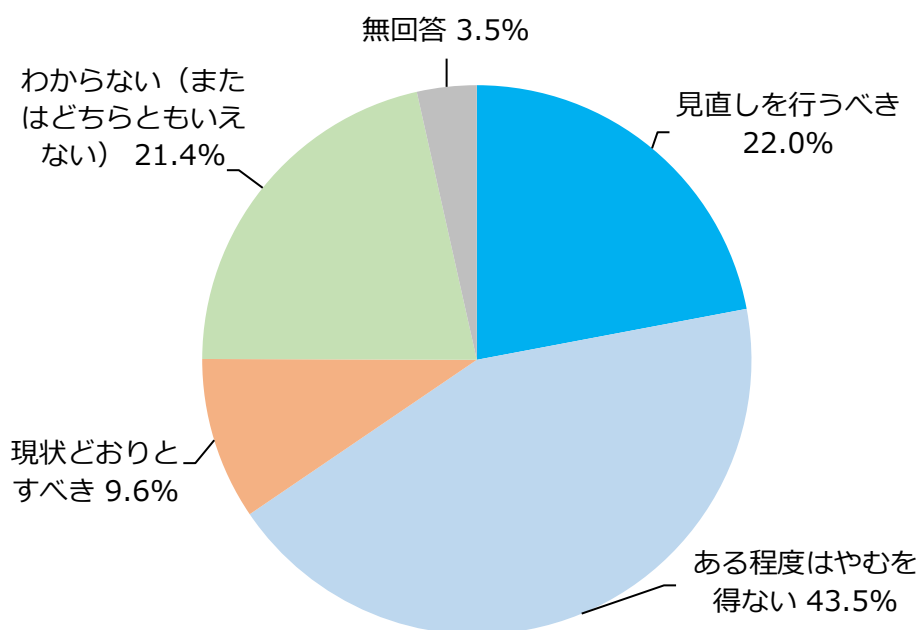
(注) 記載の数値は、回答者数を母数として回答比率を算出しているため、合計が100.0%を超える場合があります。

## 2.6 3施設の『使用料のあり方』について

【問10】 公共施設の建替えや新規整備、大規模改修を行うと、施設の維持管理費や運営費が変化するため、使用料が値上がりする場合があります。そこで、【問7】で検討している『複合化』にて整備するにあたり、**使用料の見直し**についてあなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを**1つ選んで**、番号に○をつけてください。

施設名称	10 使用料の見直し (※○は1つ)			
	見直しを行うべき	ある程度はやむを得ない	現状どおりとすべき	わからない(またはどちらとも言いえない)
(記入例)	1	②	3	4
新しい市役所本庁舎西棟 (市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後)	1	2	3	4

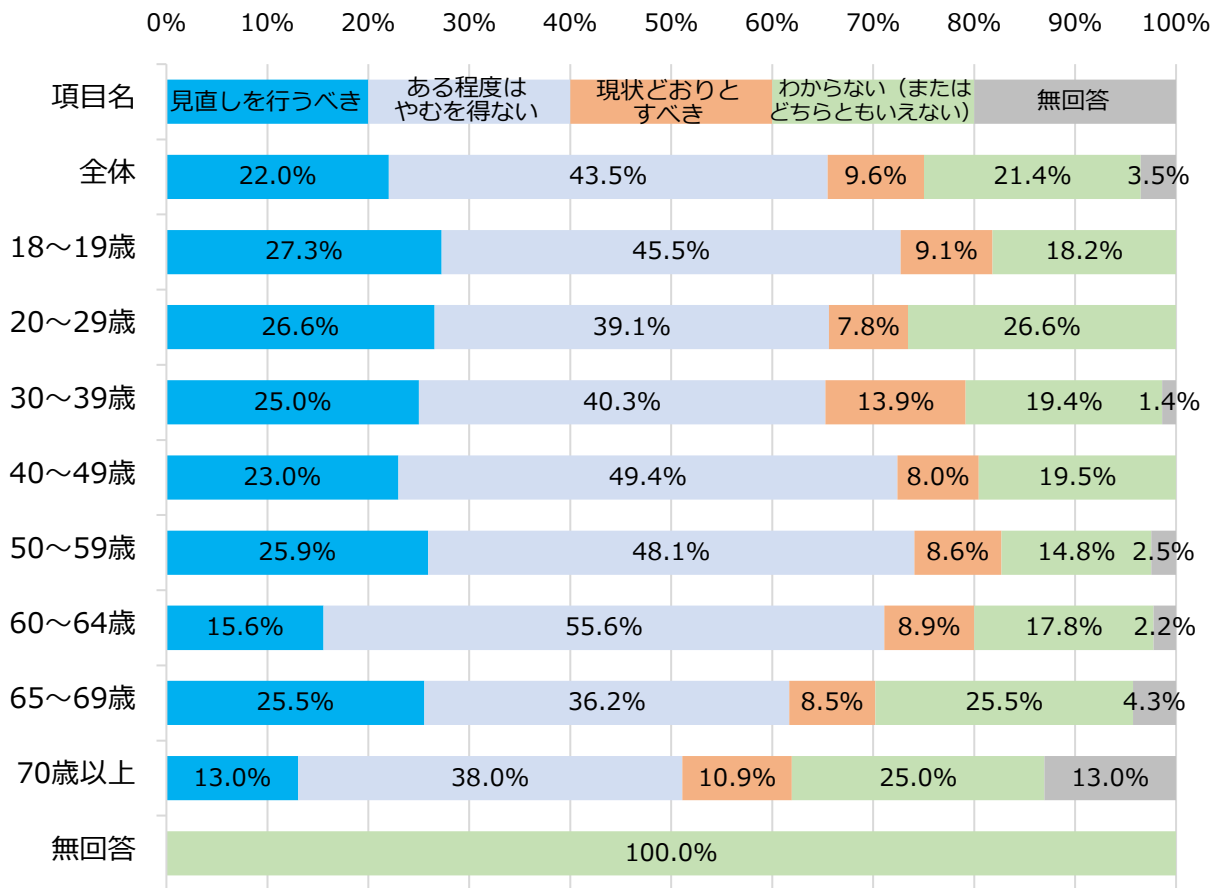
- 複合化後の使用料の見直しについて、『ある程度はやむを得ない』と回答した方が43.5%と最も多く、『見直しを行うべき』の22.0%と合わせると、65.5%の方が使用料の値上がりを容認しています。



図表 2.6.1 複合化にあたっての使用料の見直し



- 年代別にみると、18歳～50歳台と65～69歳で『見直しを行うべき』の割合が20%を超えています。また、『見直しを行うべき』と『ある程度はやむを得ない』と回答した方の合計は、年代が上がるにつれて少なくなる傾向にあります。



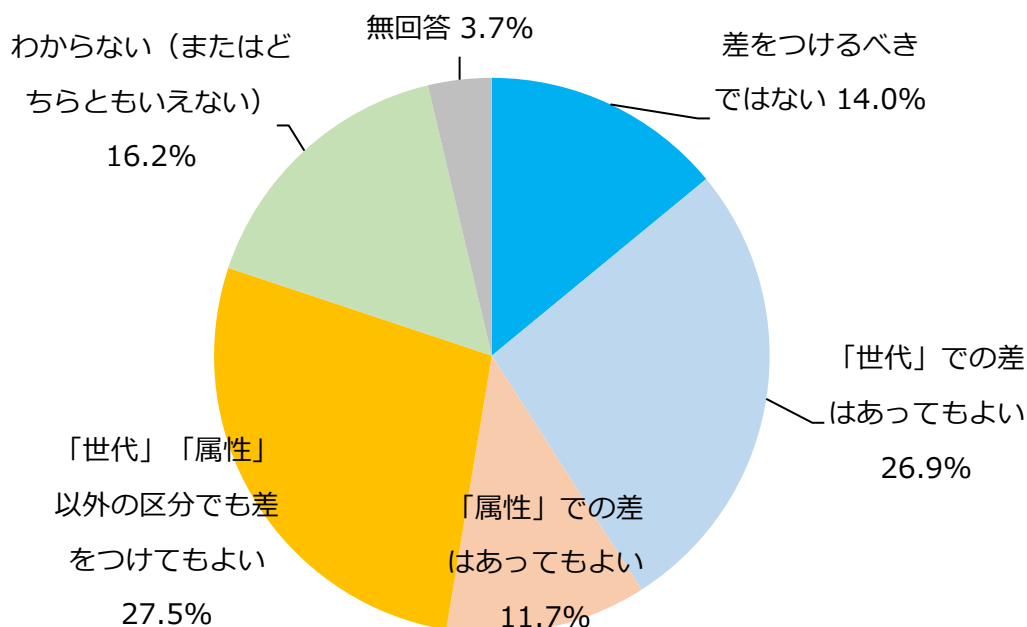
図表 2.6.2 複合化にあたっての使用料の見直し(年代別)

【問11】【問7】で検討している『複合化』にて整備するにあたり、各施設間の不均一な使用料体系の調整について今後検討が必要となります。例えば、その調整にあたり、子どもや高齢者などの「世代」や、団体や個人などの「属性」等の区分によって、**使用料の負担額に差をつけること**について、あなたはどのように考えますか。

あてはまるものを**1つ選んで**、番号に○をつけてください。

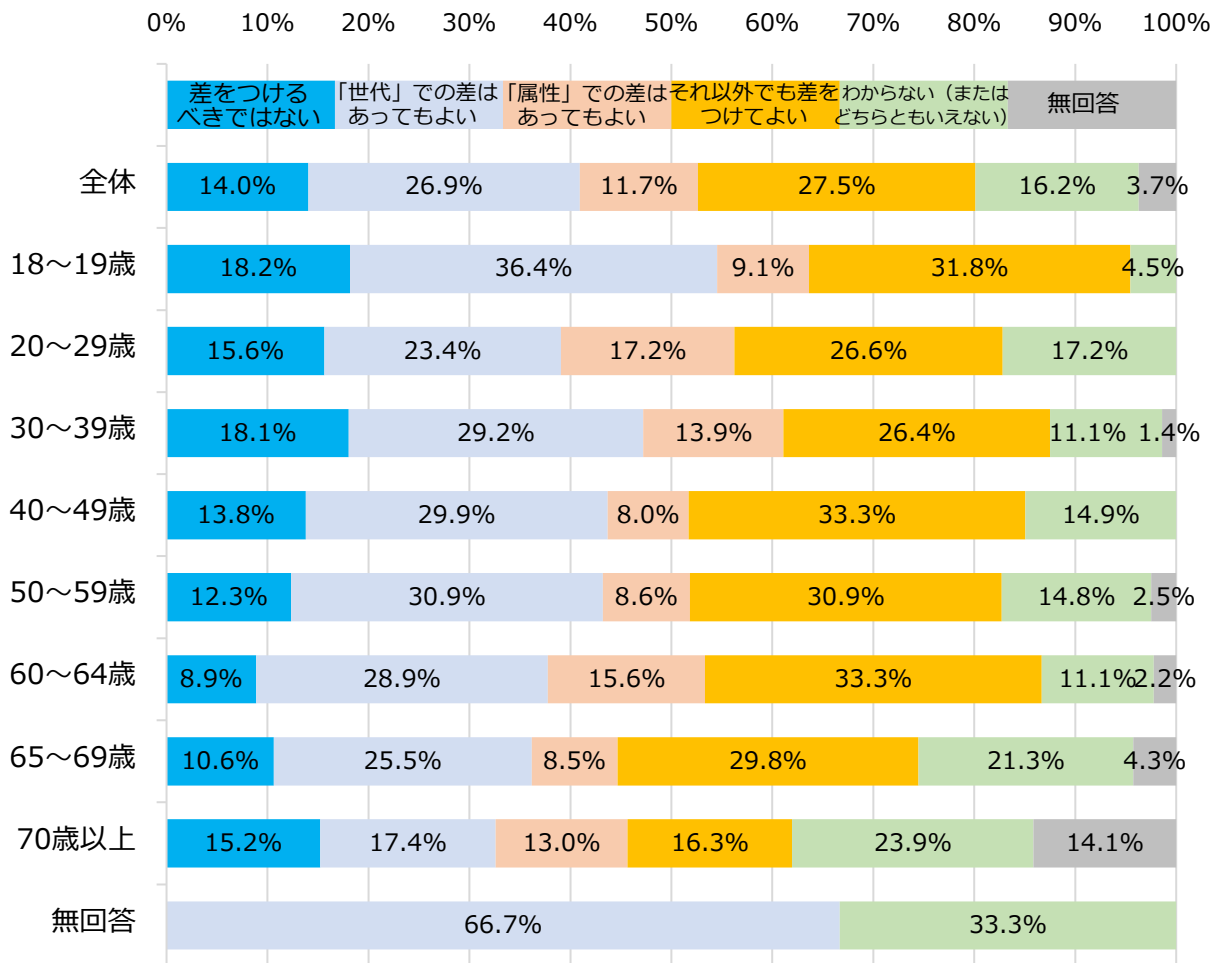
施設名称	11 使用料の負担差 (※○は1つ)				
	差をつけるべきではない	子どもや高齢者などの「世代」での差はあってもよい	団体や個人などの「属性」での差はあってもよい	「世代」や「属性」の区分のほか、それ以外の区分でも、必要であれば差をつけてもよい	わからない(またはどちらとも言えない)
(記入例)	1	②	3	4	5
新しい市役所本庁舎西棟 (市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後)	1	2	3	4	5

- 使用料の負担額に差をつけることについて、『「世代」や「属性」の区分のほか、それ以外の区分でも、必要であれば差をつけてもよい』と回答した方が27.5%で最も多く、次に『子どもや高齢者などの「世代」での差はあってもよい』が26.9%でした。ここに『団体や個人などの「属性」での差はあってもよい』と回答した方を合わせた66.1%の方が、何らかの差があってもよいと回答しており、『差をつけるべきではない』の14.0%を大きく上回っています。
- 『団体や個人などの「属性」での差はあってもよい』と回答した方は11.7%と比較的少なく、世代による差と比較すると、属性(利用形態)による使用料の差はあまり望ましくないとの傾向もみられました。



図表 2.6.3 使用料の負担額の差について

- 年代別にみると、『差をつけるべきではない』との回答は18～39歳と70歳以上で15%を超えていますが、40歳～60歳代では多少減少し、10%前後となっています。
- 「世代」、「属性」、「それ以外」の、何らかの差があってもいいと考える方の合計は69歳以下の各世代で高く、63～77%に上ります。一方で70歳以上の世代は46.7%と極端に低く、逆に『わからない（またはどちらともいえない）』の割合は23.9%で、他の世代と比較すると多くなっています。



図表 2.6.4 使用料の負担額の差について（世代別）

## 2.7 3施設の複合化整備への提案等

【問12】 標記3施設の複合化による整備について、これまでの設問の回答と重複しても構いませんので、ご意見・ご提案等がございましたら、その内容を合計200字以内で記載ください。(自由回答)

回答者 224名

その中で、特にご意見が多かった項目は以下のとおりです。

◆ 駐車場の確保を求める意見	38件
◆ 整備後の施設の利用しやすさなどを求める意見	25件
◆ 整備後の使用料についての意見	22件
適正な利用者負担を求める意見	8件
使用料の抑制を求める意見	6件
負担額の差をなくすべきとの意見	6件
負担額の差は必要であるとの意見	1件
その他	1件
◆ 複合整備に賛成する意見	16件
◆ 整備コスト・維持管理コストの縮減を求める意見	15件
◆ 若年層が利用しやすい施設整備を求める意見	14件
◆ 整備する機能等の縮減（廃止）を求める意見	13件
◆ 実施事業に関する意見	11件
講座・イベントに関する要望	6件
事業の周知・広報に関する意見	2件
その他	3件
◆ 整備する規模の縮減を求める意見	10件
◆ アンケートの対象者に関する意見	7件
◆ サンドパークに関する意見	6件
◆ 現施設の利用に関する意見	6件
◆ 高齢層が利用しやすい施設整備を求める意見	4件
◆ その他	82件
	合計 269件



※その他の特徴的な意見

- ・3施設跡地は処分し、西棟建設費用へ充ててはどうか（70歳以上男性）
- ・複合整備にあたり、どのような目的の施設でどのように使用できるのか周知・広報をしてほしい（50代女性）
- ・短時間の一時預かりのスペースを確保してはどうか（30代女性）
- ・もともと3施設についてよくわからなかった。身近な施設としてどのような利用ができるかなど、わかりやすくPRして欲しい（50代女性）
- ・行政、議会機能は現状で十分足りているため、西棟は市民のための機能のみにすべきである（40代女性）

# 福島市市民会館・敬老センター・中央学習センターの 再編整備に関する市民アンケート調査のお願い

日頃より福島市の市政運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

福島市では、昨年12月に『風格ある県都を目指すまちづくり構想』を発表し、老朽化が著しい「市民会館」「敬老センター」「中央学習センター」の3施設について、建設延期中の「市役所本庁舎西棟へ複合化を検討する」(※詳細はP2を参照)との再編整備の方向性をまとめました。

このたび実施するアンケート調査は、この「市民会館」「敬老センター」「中央学習センター」の再編整備の方向性に加え、今後ますます進む公共施設の老朽化の課題への対応や、厳しい財政状況、全国的な人口減少傾向なども見据え、どのようにして複合化により再編整備すべきか、市民の皆さまからご意見をお伺いし、今後の検討の参考とさせていただくものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の目的をご理解いただき、本アンケートにご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

平成31年2月 福島市長 木幡 浩

## 1. 記入にあたってのお願い

- ① このアンケートは、あて名のご本人がお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、ご家族や介助者の代筆で回答をお願いします。
- ② 回答は、該当する番号を○で囲んでください。(一部自由記載あり)
- ③ 別添のアンケート調査書にお名前やご住所を記入する必要はありません。

## 2. アンケートの回収について

別添のアンケート調査書に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、

**平成31年3月18日(月)までに、切手を貼らずにポストに投かん**してください。

## 3. 調査対象

- ① この調査は、国の標本調査の例にならい、住民基本台帳より無作為に抽出した、18歳以上の市民約1,500人を対象に実施しています。
- ② この調査は、あくまでも今後の検討の基礎資料とするためのものです。無記名で行い、別の目的には使用いたしません。

## 『風格ある県都を目指すまちづくり構想』について

福島市において、昨年12月に発表した『風格ある県都を目指すまちづくり構想』は、中心市街地における将来ビジョンや公共施設の再編整備に関するランドデザインとして、本市が目指す基本的な方向性をまとめたもので、**次の5つの基本方針**に基づき、まちづくりを推進していくこととしたものです。

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します
- (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します

また、この基本的な考え方に沿って、都市機能などの強化に重点的に取り組むエリアとして、**次の2つの重点エリア**を設定し、それぞれ公共投資の効率化や重点化を図ることとしました。

- (1) 広域利用者向けの都市機能が集積している **「福島駅前周辺エリア」**
- (2) 多くの行政機能・市民利用向けの機能が集積している **「市役所周辺エリア」**

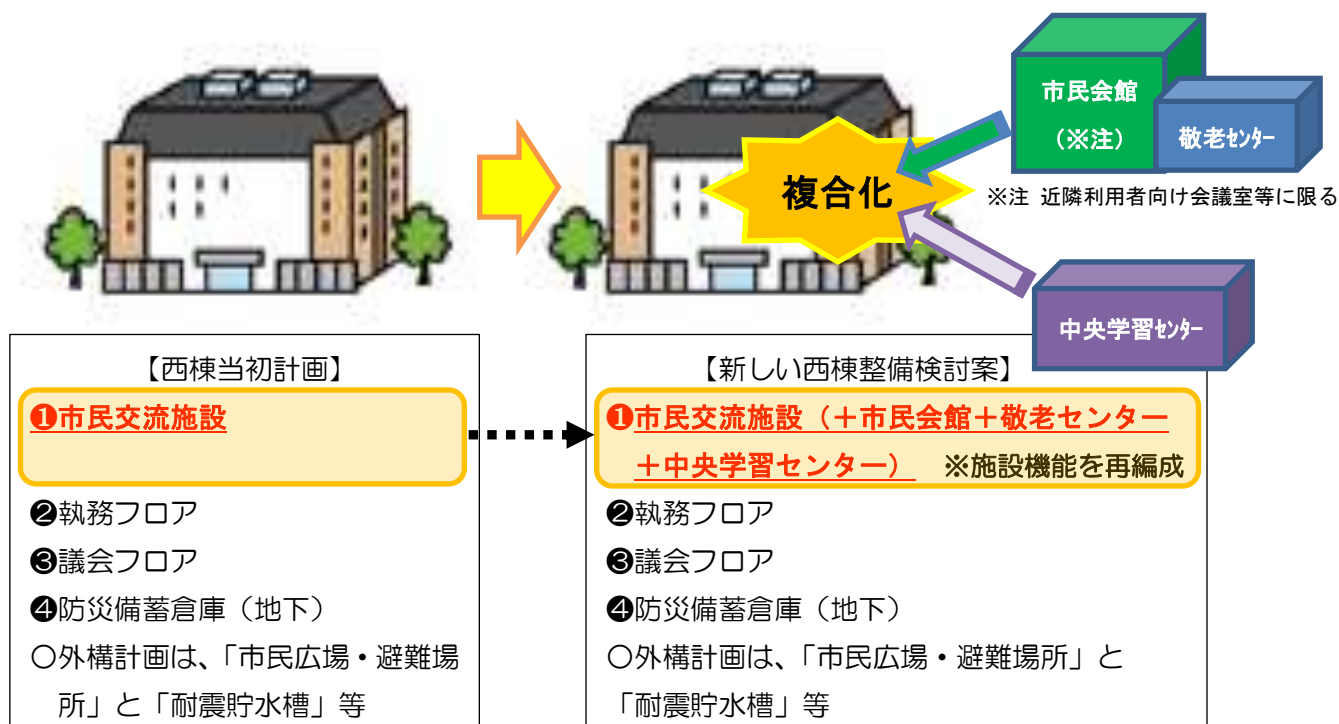
その**「市役所周辺エリア」**では、市民利用機能・防災機能の集積・強化を図ることを目指し、老朽化が進む**「市民会館（近隣利用者向け会議室等に限る※）」**「敬老センター」**「中央学習センター」**を、現在、建設延期中である**「市役所本庁舎西棟内に整備予定の市民交流施設」**に**「複合化により再整備する」**こととして、検討の方向性を位置付けたものです。

※注 「市民会館」のホールや一部の会議室は、広域的利用機能として「福島駅前周辺エリア」で再編整備  
※詳細は、福島市ホームページでもご覧いただけます。 [福島市 まちづくり構想](#)

**参考** 「複合化」とは、下図のとおり、異なる種類の施設どうしを1つにして、複合的な機能を持った施設に生まれ変わらせることをいいます。これにより、コスト縮減効果や多様化による施設の魅力向上、施設集約による利便性の向上が期待されます。

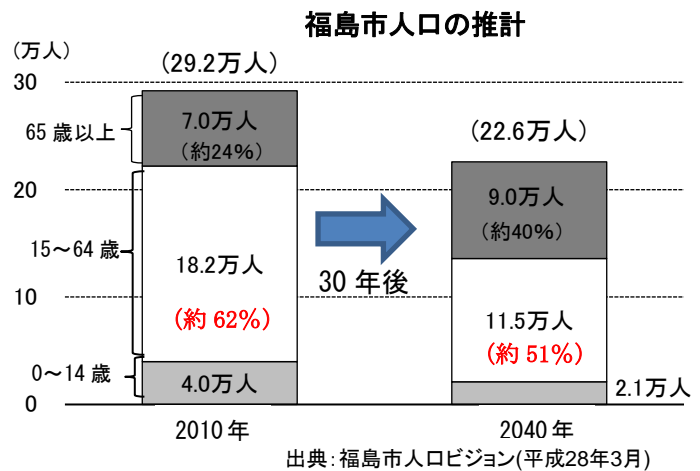
**【市役所本庁舎西棟の当初計画】**

**【新しい市役所本庁舎西棟の整備検討案】**



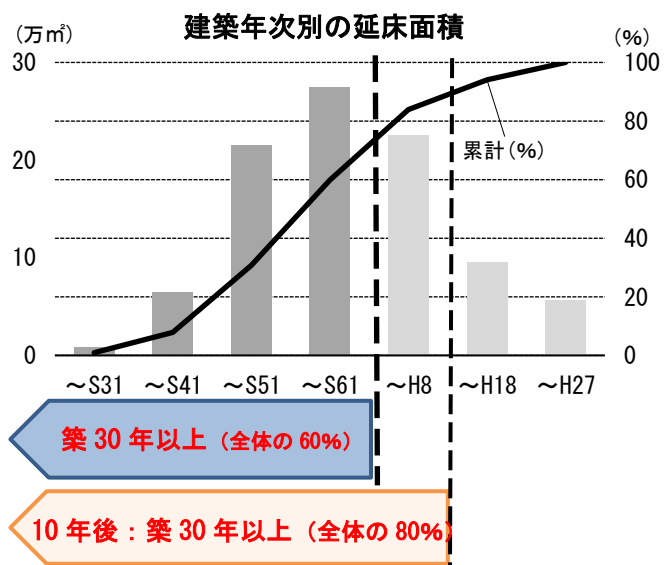
## (1) 人口減少・少子高齢化について

- 人口減少に伴い、公共施設の利用者数も減少していきます。
- 公共施設利用者の年齢構成の変化に伴い、ニーズが変化していきます。
- 15～64歳の生産年齢層の減少に伴い税収等が減少するとともに、少子高齢化で社会保障費等が増加するため、建設事業に使える財源の確保も難しくなっていきます。



## (2) 公共施設の老朽化について

- 高度経済成長期以降、人口増加や社会経済情勢の変化に併せ、多くの公共施設が整備されてきました。
- 福島市が保有する施設数は約700施設で、延床面積は約96万㎡となります。
- これらの施設は老朽化により、今後一斉に改修や建替えの時期を迎えます。
- 現在、築30年以上の施設は、全体の60%ですが、10年後には80%まで達する見込みです。



○以上のように、人口減少等による社会構造の変化など、公共施設を取り巻く情勢の変化や、公共施設の老朽化の課題に適切に対応するため、平成29年2月に『福島市公共施設等総合管理計画』を定め、現在、公共施設の保有量の適正化や、経営的視点を持った計画的な施設管理に取り組んでいます。

※詳細は、福島市ホームページでもご覧いただけます。


[福島市 公共施設等総合管理計画](#)

検索



## 市民会館・敬老センター・中央学習センターの施設現況について

### (1) 市民会館／敬老センター 【所在地：市内霞町】

	<b>【現況】</b>
<b>【施設基礎情報】</b> ①昭和46年竣工/地上6階・地下1階建て (※敬老センターは、市民会館内に設置されています) ②延床面積：6,547㎡ ③駐車台数：100台 ④施設構成：【市民会館】ホール2室/会議室19室/ 茶室茶道室2室/華道室/料理教室/音楽室 【敬老センター】和室5室 ※市民会館のホールには、現在「サンドパーク」が入居中	1 <b>建物性能</b> ①築47年で老朽化が進行しています。 ②建物の耐震性能は、旧基準で建てられたため、新基準には適合していません。 ③避難所の指定があります(市民会館：指定避難所)。 2 <b>利用状況等(サンドパークを除く)</b> ①年間利用者は市民会館が約12万人、敬老センターが約2万人で減少傾向にあります。 ②平均稼働率は、どちらの施設も全体で約40%ですが、部屋によっては数%～10%台の部屋も複数見られます。 ③年間運営費約8千万円(利用者1人あたり約470円)に対し、 <u>使用料等収入約1千万円(利用者1人あたり約70円)</u> で、残りは税金で負担(住民1人あたり約230円)しています。 ④類似施設が複数存在します。福島テルサ、アオウゼ、学習センター、等

### (2) 中央学習センター 【所在地：市内松木町】

	<b>【現況】</b>
<b>【施設基礎情報】</b> ①昭和34年竣工/地上3階・地下1階建て (公会堂と合築) ②延床面積：2,009㎡ ③駐車台数：26台 ④施設構成：講義室5室/和室2室/実習室/ ホール2室	1 <b>建物性能</b> ①築59年で老朽化が進行しています。 ②建物の耐震性能は、旧基準で建てられたため、新基準に適合していません。 ③避難所の指定があります(初期開設避難所)。 2 <b>利用状況等</b> ①年間利用者は約5万人で減少傾向にあります。 ②平均稼働率は施設全体で約40%(貸館機能のみ)です。 ③年間利用者のほかに、 <u>主催事業(講座)</u> の年間参加者は例年約1万人です。 ④年間運営費約7千万円(利用者1人あたり約1,400円)に対し、 <u>使用料等収入約20万円(利用者1人あたり約5円)</u> で、残りは税金で負担(住民1人あたり約250円)しています。 ⑤類似施設が複数存在します。こむこむ、アオウゼ、福島テルサ、市民会館、等

【備考】① それぞれの施設現況に記載の数値は、算出方法の違いから、別に発表している数値と一致しない場合があります。(主に直近3カ年の実績をもとに算出しています。)

② 【現況】欄に記載の「平均稼働率」は、「総利用時間/(開館日数×1日あたり利用可能時間)」により各室ごとに稼働率を求め、その平均値として記載しています。

※それではこれらの内容も踏まえ、別添のアンケートにご協力ください。



※この調査書を、同封の返信用封筒に入れて、平成31年3月18日（月）までにポストに投かんしてください。

## 福島市市民会館・敬老センター・中央学習センターの再編整備に関する

# 市民アンケート調査書

### あなたご自身についてお聞きします

①あなたの**性別**をお答えください。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

②あなたの**年齢**をお答えください。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 5 50～59歳 |
| 2 20～29歳 | 6 60～64歳 |
| 3 30～39歳 | 7 65～69歳 |
| 4 40～49歳 | 8 70歳以上  |

③あなたの**ご職業**をお答えください。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 1 農林水産業     | 6 学生                  |
| 2 自営業       | 7 家事(家事・育児・介護などだけに従事) |
| 3 会社員       | 8 無職(学生・家事を除く)        |
| 4 公務員、団体職員等 | 9 その他                 |
| 5 パート、アルバイト |                       |

④あなたの**お住まいの地区**をお答えください。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |              |               |                |       |
|--------------|---------------|----------------|-------|
| 1 中央東(福島駅東側) | 6 清水          | 11 西           | 16 松川 |
| 2 中央西(福島駅西側) | 7 東部(大波地区を含む) | 12 土湯温泉町       | 17 吾妻 |
| 3 渡利         | 8 北信          | 13 立子山         | 18 飯野 |
| 4 杉妻         | 9 信陵          | 14 飯坂(茂庭地区を含む) |       |
| 5 蓬萊         | 10 吉井田        | 15 信夫          |       |

⑤あなたの**世帯構成**についてお答えください。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 1人(本人のみの世帯) | 4 3人(夫婦と子どもから成る世帯) |
| 2 2人(夫婦のみの世帯) | 5 3人(上記以外の世帯)      |
| 3 2人(上記以外の世帯) | 6 4人以上             |

市民会館・敬老センター・中央学習センターの「利用状況」についてお聞きします

【問1】 あなたは、過去1年間に、次の施設をどのくらい利用していますか。それぞれ施設ごとに「1-1 利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。

また、「1-1 利用頻度」で「利用している（選択1・2）」を選択した方は、それぞれ施設ごとに右欄の「1-2 利用目的」から選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	1-1 利用頻度（※○は1つ）				1-2 利用目的（※複数選択可）					
	利用している		利用していない		会議や研修の場	サークルやボランティア等のグループの活動・交流の場	趣味や娯楽、談話の場	習い事や学習（その成果の発表を含む。）の場	軽運動や健康づくりの場	その他
	以上）	よく利用している（月1回以上）	たまに利用する（年数回程）	過去に利用したが、最近1年間では利用がない						
（記入例）	1	②	3	4	①	②	3	④	5	6
①市民会館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
②敬老センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
③中央学習センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6

【問2】 前問の「1-1 利用頻度」で「利用していない（選択3・4）」を選択した方のみお答えください。それぞれ施設ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

施設名称	2 利用していない理由（※複数選択可）						
	（または機会がない）利用する必要がない	利用できる曜日や時間が活動と合わない	知らない	施設又は利用できるサービス・講座の内容を知らない	利用できる施設やサービス・講座内容に魅力がない	利用の仕方に制限があり、自由に施設を使えない	使用料が高い
（記入例）	1	②	3	④	5	6	7
①市民会館	1	2	3	4	5	6	7
②敬老センター	1	2	3	4	5	6	7
③中央学習センター	1	2	3	4	5	6	7

【問3】 「中央学習センター」の講座参加状況についてお聞きします。

「中央学習センター」は、施設の貸出だけでなく、社会教育施設として青少年や女性、高齢者などのために様々な講座やセミナー、イベント等を開催しています。

あなたは、「中央学習センター」が主催する講座やセミナー、イベント等に参加したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	3 中央学習センター講座等への参加の有無（※○は1つ）				
	参加している		参加していない		
	回数以上) よく参加している(月1程度)	たまに参加する(年数回程度)	過去に参加したが、最近1年間では参加がない	習センターでは参加したことがある	他の学習センターも含め、一度も参加したことがない
(記入例)	①	2	3	4	5
③中央学習センター	1	2	3	4	5

市民会館・敬老センター・中央学習センターの「満足度」についてお聞きします

【問4】 あなたが次の施設に感じている満足度について、それぞれ施設ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

また、「4-1 満足度」で「満足している（選択1・2）」を選択した方は、それぞれ施設ごとに右欄の「4-2 満足している理由」から選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	4-1 満足度（※○は1つ）					4-2 満足している理由（※複数選択可）							
	満足している		満足していない			ある	建物内のスペースにゆとりがある	設備や備品が充実している	利用できる曜日や時間帯が活動に合う	ある	利用したい部屋やサービスがある	使用料が安い（または無料）	その他
	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	どちらでもない（またはわからない）								
(記入例)	1	②	3	4	5	1	2	③	④	5	6		
①市民会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		
②敬老センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		
③中央学習センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6		

- 【問5】 前問で「満足していない（選択3・4・5）」を選択した方にお聞きします。  
 それぞれ施設ごとに、満足していない理由を選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	5 満足していない理由 (※複数選択可)						
	建物や部屋が狭い	設備や備品が充実していない	利用できる曜日や時間帯が活動と合わない	利用したい部屋やサービスがない	使用料が高い(または有料)	利用の仕方に制限があり、自由に施設を使えない	その他
(記入例)	1	2	③	4	5	⑥	7
①市民会館	1	2	3	4	5	6	7
②敬老センター	1	2	3	4	5	6	7
③中央学習センター	1	2	3	4	5	6	7

市民会館・敬老センター・中央学習センターの「施設機能・サービス」についてお聞きします

- 【問6】 「市民会館」は市民の集会利用のために設置されたものですが、「敬老センター」は老人福祉法により老人福祉の向上のため、「中央学習センター」は生涯にわたる学習活動の推進のためと、それぞれ公共的な目的をもって設置されています。

そこで、あなたが次の施設に求める施設機能・サービスについて、それぞれ施設ごとに2つまで選んで番号に○をつけてください。

施設名称	6 求める施設機能・サービス (※2つまで選択可)					
	会議や研修の場の提供	サークルやボランティア等のグループ活動・交流の場の提供	趣味や娯楽、談話の場の提供	習い事や学習(その成果の発表を含む)の機会の提供	軽運動や健康づくりの機会の提供	その他(または特にない)
(記入例)	①	2	③	4	5	6
①市民会館	1	2	3	4	5	6
②敬老センター	1	2	3	4	5	6
③中央学習センター	1	2	3	4	5	6

市民会館・敬老センター・中央学習センターの「複合化のあり方」についてお聞きします

【問7】 現在、「市民会館（近隣利用者向け会議室等に限る）」「敬老センター」「中央学習センター」について、市役所本庁舎西棟（市民交流施設に限る）への『複合化』を検討しています。  
 （※詳細は、同封の『アンケート調査のお願い』2頁をご覧ください。）

あなたが複合化で最も重視することを、2つまで選んで番号に○をつけてください。

施設名称	7 複合化で最も重視すること（※2つまで選択可）							
	異なる種類の施設を組合せて利用できる（例貸室と飲食スペース・ギャラリー等）	誰でも自由に使えるフリースペースがある（例ロビー、サロン、ギャラリ等）	施設レイアウト（例可動間仕切り等）による部屋数や面積の調整等	多様な市民交流が可能となる柔軟な施設レイアウト（例可動間仕切り等）	窓口で手続きができる等	利用手続きが簡単である（例一つの窓口で手続きができる等）	誰でも安全・安心に利用でき、防災性やバリアフリーに優れた構造	将来世代に負担を残さないよう建設・維持管理コストを極力抑える
（記入例）	①	2	③	4	5	6	7	
新しい市役所本庁舎西棟 （市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後）	1	2	3	4	5	6	7	

【問8】 前問における『複合化』の検討にあたり、複合整備の規模の考え方として、あなたが最も重視する考え方は何ですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

施設名称	8 複合整備の規模の考え方（※○は1つ）				
	今後の人口減少や財政的な負担を考慮し、必要最小限の規模にすべき	現在の3施設の利用状況に見合った規模にすべき	現在の3施設を合算した規模に近いものとすべき	複合整備の規模にはこだわらない	その他
（記入例）	①	2	3	4	5
新しい市役所本庁舎西棟 （市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後）	1	2	3	4	5

（※回答例にある利用状況等の詳細情報は、同封の『アンケート調査のお願い』3・4頁をご覧ください。）

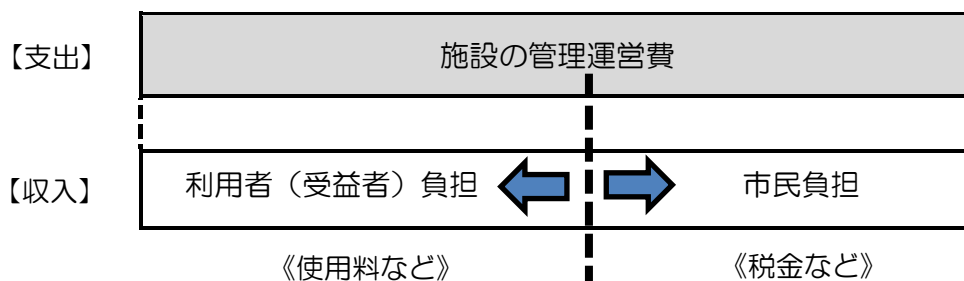
【問9】 【問7】における『複合化』の検討にあたり、魅力ある複合整備とするために、**あなたが必要と考える施設機能（部屋）**は何ですか。あてはまるものを**2つまで選んで**、番号に○をつけてください。

施設名称	9 複合整備に必要な施設機能（部屋）（※2つまで選択可）						
	ホール等 大人数で利用できる多目的	会議や研修に利用できる会議室や研修室等	小グループで活動・交流できる和室や娯楽・談話室等	文化教養活動のための実習室や音楽室等	軽運動や健康増進を図るための部屋	休憩スペース（軽食・カフェ・売店など）	その他（または特にない）
（記入例）	①	2	③	4	5	6	7
新しい市役所本庁舎西棟 （市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後）	1	2	3	4	5	6	7

**市民会館・敬老センター・中央学習センターの「使用料のあり方」についてお聞きます**

一般的に、公共施設の建設費だけでなく、維持管理・運営費にも市民の皆さんの税金が使われていますが、福島市では、施設の利用に伴い直接的に利益を受ける利用者が、利益に見合った負担をするという、「**受益者負担の原則**」を基本として、使用料のあり方について検討しています。

（参考）利用者が負担する使用料により、施設の管理運営費を賄い切れない場合には、不足分について市民の皆さんの税金が補てんされています。（※以下のイメージ図参照）



※この内容を参考に、次頁の設問にお進みください。

【問10】 公共施設の建替えや新規整備、大規模改修を行うと、施設の維持管理費や運営費が変化するため、使用料が値上がりする場合があります。そこで、【問7】で検討している『複合化』にて整備するにあたり、**使用料の見直し**についてあなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを**1つ選んで**、番号に○をつけてください。

施設名称	10 使用料の見直し (※○は1つ)			
	見直しを行うべき	ある程度はやむを得ない	現状どおりとすべき	わからない(またはどちらとも言えない)
(記入例)	1	②	3	4
新しい市役所本庁舎西棟 (市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後)	1	2	3	4

(参考) 「市民会館」「敬老センター」「中央学習センター」の使用料等について

次のように、同じ『複合化』にて整備を検討している施設間でも、施設の設置目的が異なるため、使用料の額や減免基準(全部または一部の使用料免除)には差があります。

【施設名称】	【主たる利用者】	【使用料等】
・敬老センター	主に60歳以上の方	原則として無料
・市民会館	多世代による利用	原則として有料
・中央学習センター	多世代による利用	<u>生涯学習活動の登録団体は減免制度で無料</u>

【問11】 【問7】で検討している『複合化』にて整備するにあたり、各施設間の不均一な使用料体系の調整について今後検討が必要となります。例えば、その調整にあたり、子どもや高齢者などの「世代」や、団体や個人などの「属性」等の区分によって、**使用料の負担額に差をつけること**について、あなたはどのように考えますか。

あてはまるものを**1つ選んで**、番号に○をつけてください。

施設名称	11 使用料の負担差 (※○は1つ)				
	差をつけるべきではない	子どもや高齢者などの「世代」での差はあってもよい	団体や個人などの「属性」での差はあってもよい	要であれば差をつけてもよい	「世代」や「属性」の区分のほか、それ以外の区分でも、必要であれば差をつけてもよい
(記入例)	1	②	3	4	5
新しい市役所本庁舎西棟 (市民会館・敬老センター・中央学習センターの複合化後)	1	2	3	4	5

【問 12】 標記3施設の複合化による整備について、これまでの設問の回答と重複しても構いませんので、ご意見・ご提案等がございましたら、その内容を合計200字以内で記載ください。(自由回答)

12 ご意見・ご提案等の内容	(※どのような内容でも結構です)

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認いただき、返信用封筒に入れて、

**3月18日(月)までに投かん**をお願いします。

○問い合わせ先

福島市役所

財務部 管財課 新庁舎建設係 【市役所本庁舎西棟及びアンケート全体に関すること】

電話：024(535)1140

市民安全部 生活課 市民会館 【市民会館に関すること】

電話：024(535)0111

健康福祉部 長寿福祉課 長寿福祉係 【敬老センターに関すること】

電話：024(525)7656

教育委員会 中央学習センター 【中央学習センターに関すること】

電話：024(534)6631